

設置の趣旨等を記載した書類 別添資料

豊橋技術科学大学工学部学際共創課程

資料目次

資料 1 設置の必要性	1
資料 2 アンケート結果・分析	3
資料 3 改組の全体像について	7
資料 4 課程・専攻名称について	19
資料 5 養成する人材像及び3つのポリシーの相関及び整合性	20
資料 6 3ポリシーと学修すべき知識・能力（科目群）	21
資料 7 3ポリシーと学修・教育到達目標の関連性	26
資料 8 履修モデル	27
資料 9 実務訓練派遣先一覧（2025 年度）	32
資料 10 受入承諾書（サンプル）	38
資料 11 キャンパスマップ	39
資料 12 各教室の設備設置等	40
資料 13 関係会議規程等	41

なぜ変わるのか（背景・課題）

課題 1

高専教育の高度化と
学生の多様化

高専教育が高度化し、学生の志向がスペシャリストからジェネラリストまで多様化しているにもかかわらず、単一分野を深く学ぶ従来の「らせん型教育」では、学生一人ひとりの多様な将来像に合わせた柔軟なカリキュラムを提供できず、キャリアの選択肢を狭める可能性がある。

課題 2

複数分野を横断
する知識と視野
の必要性

社会課題が複雑化し、企業からも学生からも「複数の専門分野を横断する知識や俯瞰的な技術力」が強く求められているが、現在の課程・専攻ごとの縦割りの教育システムでは他分野の学修が難しく、そのニーズに応えられていない。

課題 3

知識を課題解決
に活かす
実践力の向上

複雑化・多様化する実際の社会課題を解決するためには、授業で得た知識（特に他分野の知識）を応用する力が必要だが、現在のカリキュラムでは複数分野を横断する学際的な課題解決を経験する「実践的・共創的な場」が不足しており、実践的能力を十分に引き上げられていない。

「教員目線」から「学生本位」の教育へ 求められる人材像の転換が必要！

- 高い専門性に加え、柔軟な思考と広い視野を持つ人材の養成
- 複数分野を横断する学際的な実践的能力を持つ人材の養成



カリキュラムを柔軟にアレンジできる
新しい教育システムの導入

豊橋技術科学大学の教育組織再編に関するアンケート分析結果

本学の教育組織の再編に関連した内容についてのアンケート分析した結果を示す。対象は、本学で定期的に（直近は 2022（令和 4）年度）に実施している企業等に就職している卒業生・修了生に対するアンケート結果、2025（令和 7）年 6 月実施した企業（59 社からの回答）へのアンケート結果、2025（令和 7）年 8 月にオープンキャンパス来場者（高校生 191 人、高専生 93 人からの回答）を対象としたアンケート結果の詳細について示す。

○ 2022 年に実施した卒業生・修了生アンケート（本学学部卒業・大学院修了後、就職した 3 年経過者を対象）結果の分析で、「問 5-2. 実社会での経験を踏まえて、大学のカリキュラムに追加すべきだとお考えになる授業」、「問 17. 大学院時代を振り返ったときに、自分が専攻した分野以外で勉強をしておけばよかったと思うこと」に対し、トランスファラブルスキル、ジェネリックスキルなどの他、専門分野については、自分が専攻した分野以外の専門分野の学修の必要性について回答が多くみられ、主分野の専門だけでなく分野横断的な多様な知識・能力、技術者・研究者が備えるべき俯瞰的技術力、態度・志向性を大学・大学院で学修する必要が指摘された。（図 1－1）

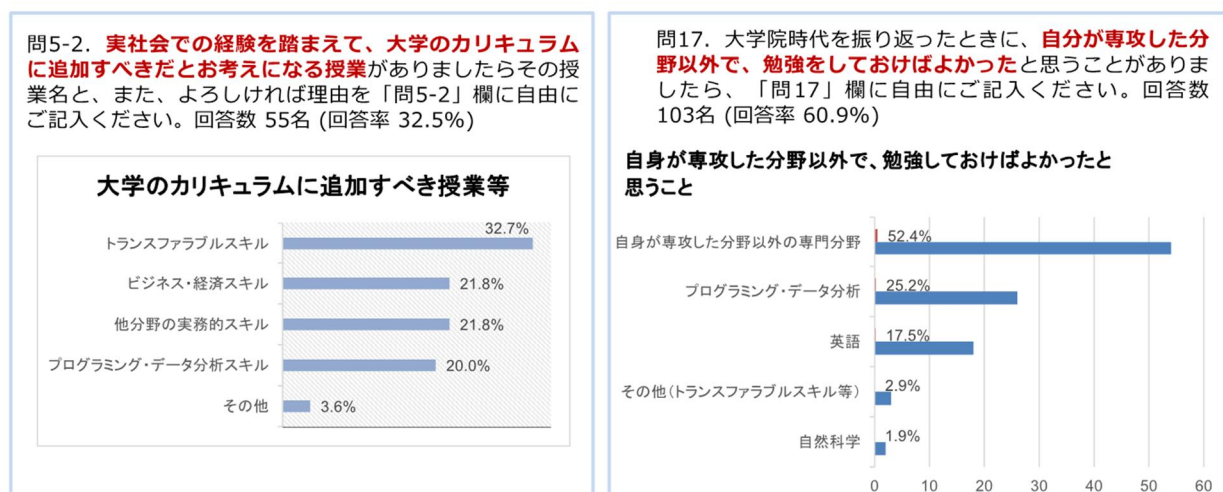


図 1－1：卒業生・修了生アンケート結果

○ 2025 年 6 月に「分野横断的能力に関して—教育組織再編に関する企業へのアンケート」（回答者数 59 社）を以下 4 項目について実施した結果について分析した。（図 1－2）

- 問 1. 大学・大学院において、ひとつの専門分野の能力だけでなく、複数の専門分野の能力（分野横断的能力）を育成することは必要と思われますか。 強く思う・思う：82%
- 問 2. 大学・大学院において、分野横断的な汎用的技能（ジェネリックスキル）を育成することは必要と思われますか。 強く思う・思う：98%
- 問 3. 本学教育組織再編後に育成される学生について、今後の地域社会、国際社会での貢献に期待できますか。 非常に期待できる・期待できる：94%
- 問 4. 本学教育組織再編後に育成される学生は貴社に必要ですか。 大いに必要である・必要

である：95%

全ての質問項目に肯定的な回答を得ており、分野横断的能力の育成、分野横断的な汎用的技能の育成を産業界が求めていることが確認できた。自由記述欄の記載内容からもその期待の高さが伺えた。

- 興味のある他分野のことを学べる機会があることは学生にとって大変有益
- 専門性の高さと共に、多様な学びをより複合的に学びやすくなると感じ、大変期待
- 昨今の学生を取り巻く環境は年々変化しており、学生の考え方も多様化。スペシャリストを目指す学生からジェネラリストを志向する学生まで、その考え方は様々。このような学生たちが、自分の描く未来像に対して自ら選択できる環境は非常に素晴らしい。
- 専門特化型の人材は、特定分野において高い専門性を発揮できる点で非常に有用であり、一概に否定されるべきものではない。一方で、現代社会では課題が複雑かつ多様化しており、複数の専門分野にまたがる知識を持つことで、柔軟な思考や広い視野を備えた人材の重要性が高まっていると感じている。貴学の教育再編を通じて、こうした複合的なスキルを持つ高度専門人材の育成を進められることに大いに期待。
- 事業領域の拡大に併せて、それに対応できる専門性の多様化、また、それを底支えするジェネリックスキルの強化は、弊社の求める人物像に叶う。
- 貴学学生の特徴として、高専出身者を中心に、技術的観点への深い興味と探求心があると感じている。再編後は、学生の技術的興味をさらに深めることができるシステムとなることに期待。
- 貴学の実務訓練を通じて、貴学学生と関わる機会が多くあり、現場での素直な姿勢や学ぶ意欲にいつも感心している。再編により、より幅広い視点や柔軟な思考を持つ人材が育成されていくことを楽しみにしている。

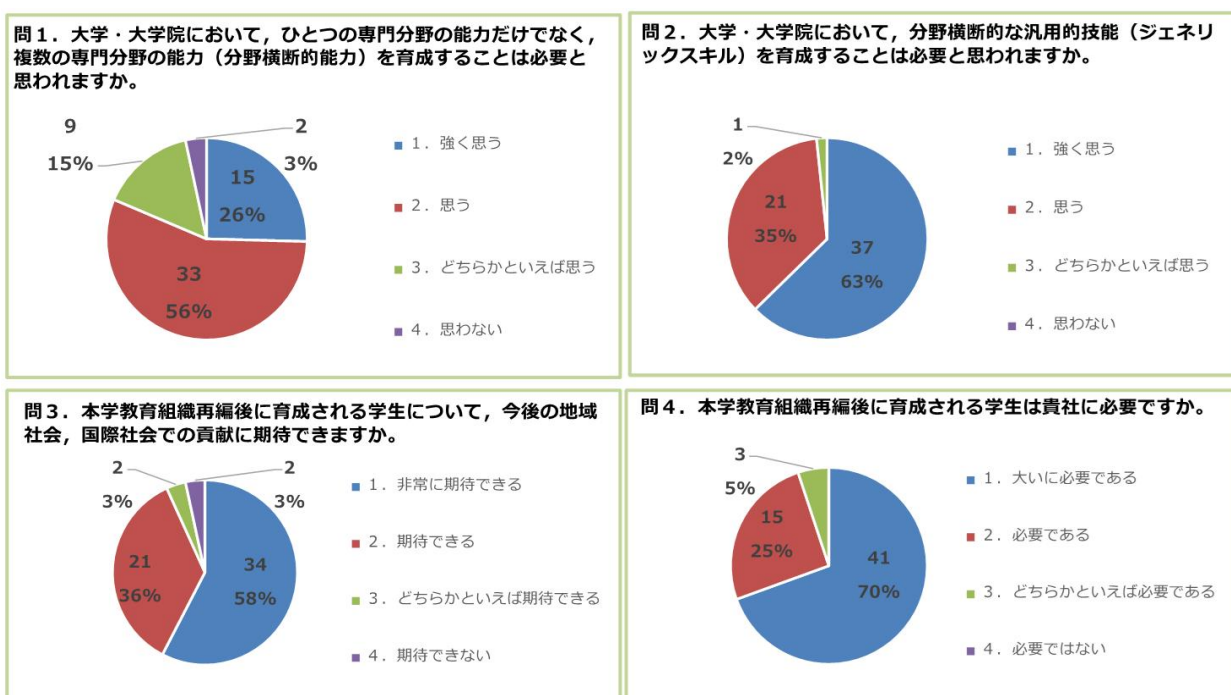


図 1－2：分野横断的能力に関して－教育組織再編に関する企業へのアンケート結果

○ 2025 年 8 月に開催したオープンキャンパスで以下 3 項目についてアンケート（高専生回答者数 93 人）を実施した。（図 1－3）

「大学進学に関して、自分の志望する専門分野（学科や課程など）は明確ですか」「複数の専門分野を同時に学ぶことで、自分の将来の選択肢が広がると思いますか。」「学生自身が主体的に学修計画を設計できる教育システムに魅力を感じますか。」。その結果、7 割強の学生は進学後の専門分野がほぼ明確になっているが、複数の専門分野が学ぶことができれば将来の選択肢がより広がると考えていることが明確となった。

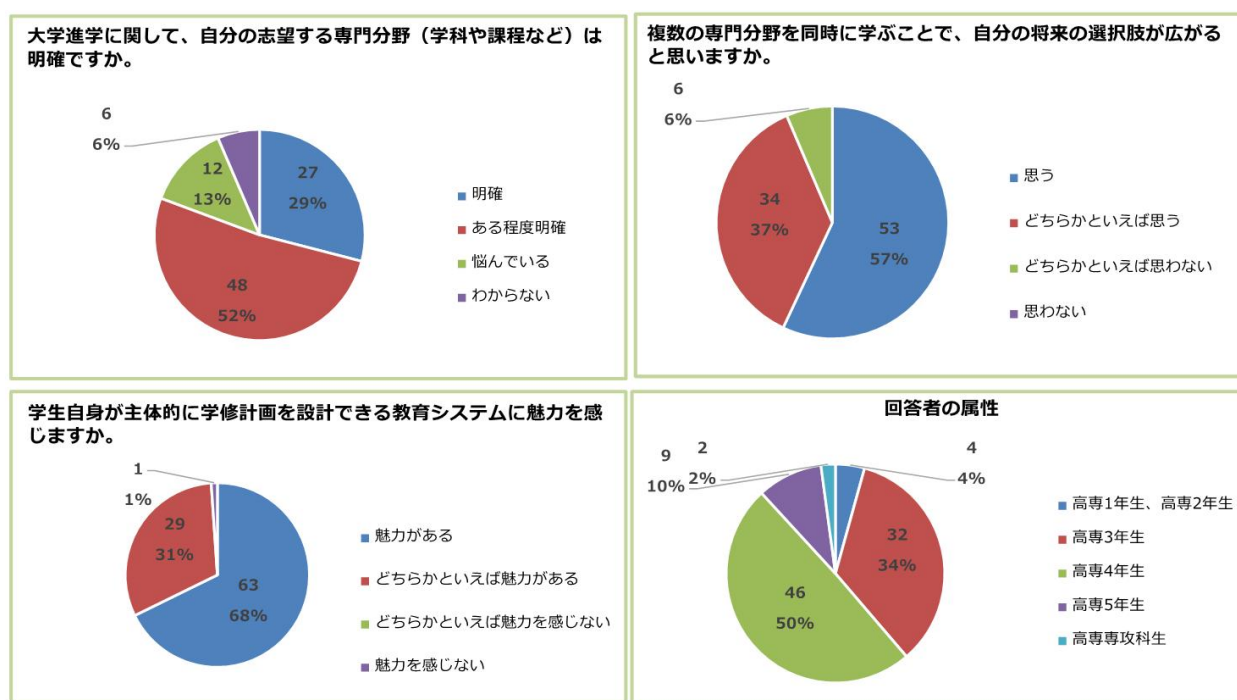


図 1－3：オープンキャンパスアンケート—高専生回答

○オープンキャンパスでは高校生にも同項目でアンケート（高校生回答者数 191 人）を実施した。（図 1－4）

「大学進学に関して、自分の志望する専門分野（学科や課程など）は明確ですか」「複数の専門分野を同時に学ぶことで、自分の将来の選択肢が広がると思いますか。」「学生自身が主体的に学修計画を設計できる教育システムに魅力を感じますか。」。その結果、7 割強の学生は進学後の専門分野がほぼ明確になっているが、複数の専門分野が学ぶことができれば将来の選択肢がより広がると考えていることが明確となった。

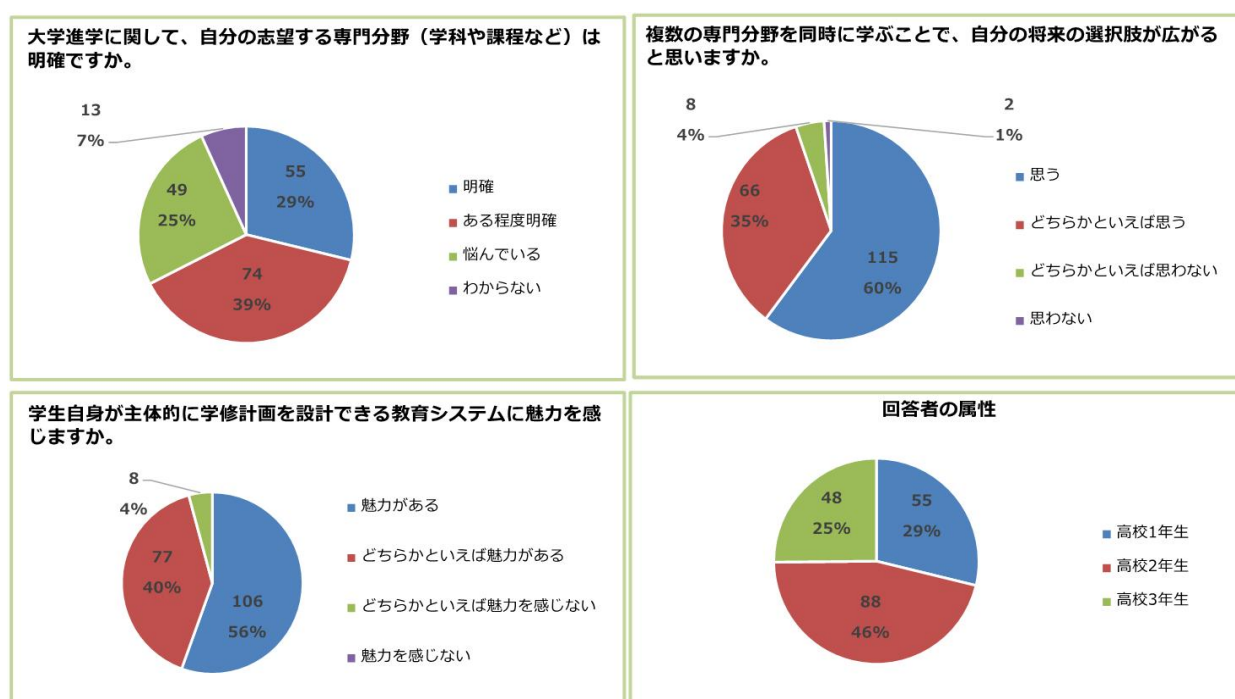


図 1－4：オープンキャンパスアンケートー高校生回答

何が変わるのか（改組の全体像）

別添資料3

学部から大学院まで、柔軟で実践的なオーダーメイドの学びを担保する
「1課程・1専攻」体制

BEFORE



AFTER



5つの課程・専攻の壁を取り払い、シームレスで自由な「学びの地図」を描く

何が変わるのか（改組の全体像）

令和9年度（2027年度）から実施予定

学際共創課程/学際共創専攻

専門分野の壁を超える分野横断的な学位プログラム

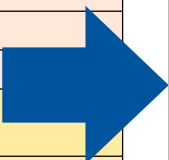
学部から大学院までを見据えた、
一人ひとりの成長を支える一貫した教育パス

再編前

学部5課程・大学院5専攻

学生配属	コース
機械工学課程・専攻	機械・システムデザインコース
	材料・生産加工コース
	システム制御・ロボットコース
	環境・エネルギーコース
電気・電子情報工学課程・専攻	材料エレクトロニクスコース
	機能電気システムコース
	集積電子システムコース
	情報通信システムコース
情報・知能工学課程・専攻	コンピュータ・データサイエンスコース (大学院のみ)
	ヒューマン・マシンインテリジェンスコース (大学院のみ)
応用化学・生命工学課程・専攻	応用化学コース
	生命工学コース
建築・都市システム課程・専攻	建築コース
	社会基盤コース

工学部・大学院工学研究科



再編後

大学院工学研究科・博士前期課程・学際共創専攻

学生所属
(分野)

1～2年次

3年次以降、博士前期課程

学部1課程・大学院1専攻

機 械

電 気

情 報

化 学

建 設

基礎科目・主専門科目主体

学生個別の
柔軟なカリキュラム設計を
実現します。

学部3年次から、主分野の専門知識だけでなく、5つの学問分野を核とする複数の他専門分野の科目を履修することが可能です。

自分の主たる専門分野の枠にとらわれず、思い描く将来像に合わせて、分野横断的な学習を進めることができます。

何が変わるのか（改組の全体像）

学際共創課程・専攻の4つの主な特徴

【起点】 なりたい自分を先に描く



分野の壁を越え、社会の課題を解決するための理想の技術者像を定義します。

【設計】 80%の専門 × 20%の自由



軸となる専門性を80%固め、残り20%は将来に必要な「もう一つの知識」を自由に選び取ります。

【対話】 指導教員とカリキュラムを共創

答えは一人では出さなくていい。対話を通じて自分だけの学びの地図を設計します。



【到達】 問いをつくる技術者へ

複数の視点を持ち、複雑に絡み合った社会課題の新しい解を生み出せる存在になります。



「変わる」4つのポイント

		5課程・5専攻	1課程・1専攻（学際共創課程/専攻）
1	学びの構造	画一的な積み上げ型（直線的に科目を履修）	- 個別最適化の「未来起点」教育（将来像からカリキュラムを設計） - 学年・分野の枠を超えたシームレスな学修 105分授業の導入による深い学びの実現（2029年度～） 高専モデルコアカリキュラム^{plus}と接続強化
2	専門分野	- 単一分野への特化 - 高専の学びと重複、過密スケジュール	分野横断の自由化 - 高専教育との重複排除による科目数を従来比20%程度削減
3	実践教育	1・2年次のものづくり教育の浅さ - 実践的なキャリア教育の不足	- 様々な分野・学年のメンバーが協働する、実践型総合科目群の設置 - 学部から大学院までの一気通貫の産学共創・共修キャリア教育
4	指導体制	B4からの研究室配属	B3後期からの早期研究室配属と「副指導教員」を含む複数指導体制 - 学部4年次からの修士研究実施により、博士前後期課程早期修了の積極的な推進

「変わらない」3つのポイント

変わらないこと（継承される強み）

本学の根幹となる以下の方針・体制は新体制でも変わらず維持・発展されます

✓ 学部・大学院一貫教育と実践重視の理念

リベラルアーツ教育は学部・大学院まで一貫して学ぶことができます。

基盤となる学問分野の維持：機械工学、電気・電子情報工学、情報・知能工学、応用化学・生命工学、建築・都市システム学の既存5分野を教育の核として維持します。

✓ 「教教分離」の体制と教員組織のあり方

教育組織（課程・専攻）と教員組織（系）を分離する体制は継続。教員は「系」に所属しながら教育組織に出向いて教育を行います。所属系以外を兼務できる仕組みも継続します。

教養教育を全学的に統括する役割は引き続き総合教育院が担います。

✓ 学位（工学）の価値保証

「三つのポリシー」による一貫した教育の質保証を維持します。何を学びどのような能力を身につけて卒業するのかを明確に示し、その成果を客観的に評価する姿勢は、新たな教育システムにおいても変わりません。

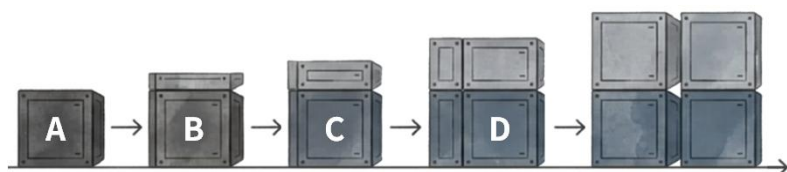
変化1：学びの構造

1 画一的な「積み上げ」から、「未来起点」へ

BEFORE

積み上げ教育

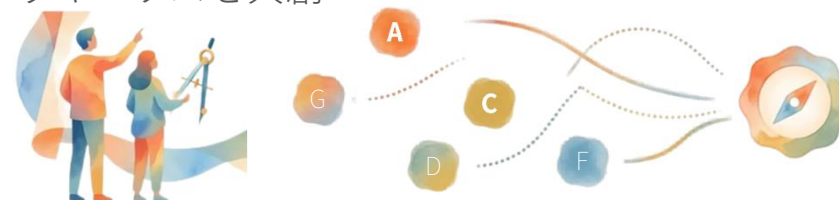
全員が同じ科目を、決められた順番で履修



AFTER

未来起点教育

学生一人ひとりの目標に合わせて、必要な知識・技術を主体的に選択。指導教員が共にカリキュラムを共創



- 所属する課程の全員が同じ科目を順に履修する画一的な「らせん型教育」から、学生一人ひとりの将来像（目標）から逆算して個別の学修計画を立てる**未来起点教育（学生の将来像を起点とした学生個別の柔軟な学際的教育）**へと変わります。
- **学年や分野をまたいだシームレスな学習**により、難易度別に指定された科目の中から、個人の進捗や目標に合わせて柔軟に学びを組み立てられる仕組みに変わります。

Journal Pre-proof

BEFORE

[illegible]

AFTER

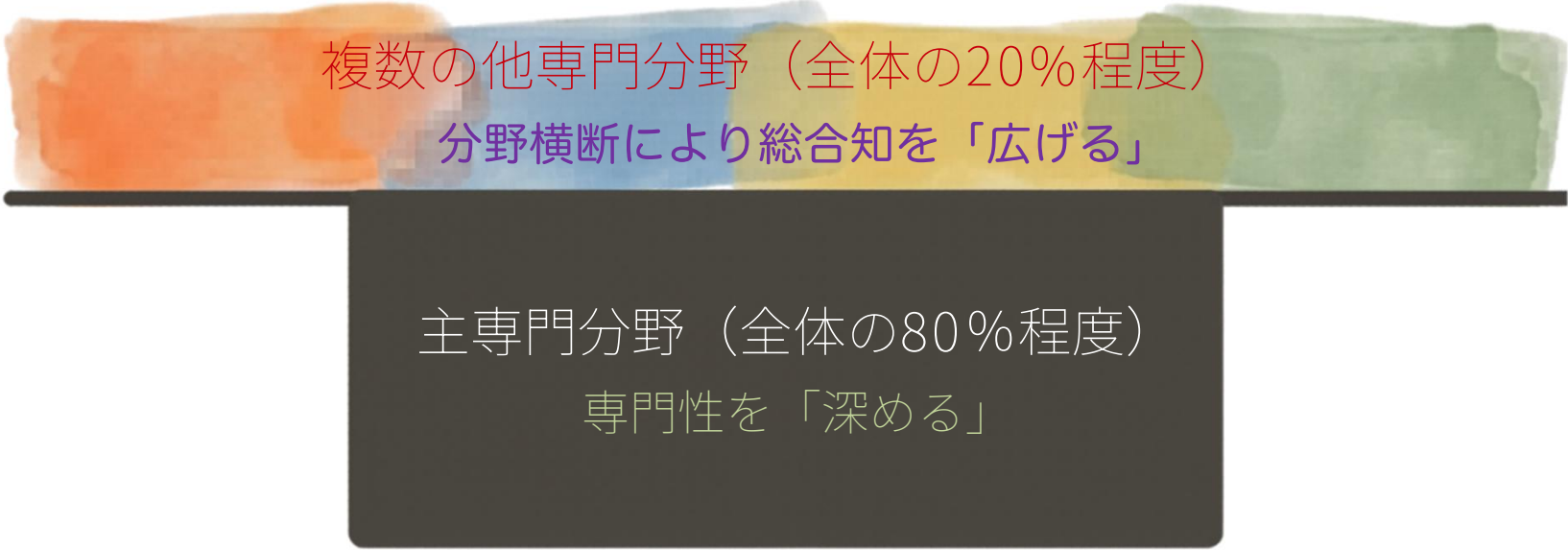
	Mon	Tue	Wed	Th	Fri	Sat	Su
							
							

学ぶ余裕
生まれた「余白」は、他分野の横断的学修や、実践的なプロジェクトに没頭するための時間として活用。

教える余裕
研究時間の確保
授業負担の重複排除と最適化により、
高度な研究活動との両立が容易

変化2：専門分野

2 専門分野の壁を超える、「メジャー・マイナー制」



複数の他専門分野（全体の20%程度）
分野横断により総合知を「広げる」

主専門分野（全体の80%程度）
専門性を「深める」

- 単一の専門分野のみを深く学ぶ方式から、自分のメインとなる「主分野（70～80%）」の基盤を固めつつ、残りの20～30%を使って複数の「他専門分野」を柔軟に学ぶ分野を横断する教育へ転換します。

教養科目で育成すべき知識・能力

学部から博士前期課程に至るシームレスなリベラルアーツ教育の展開

2026年度のカリキュラム再編では、専門教育へのスムーズな接続と、より高度で多様な視点を養うリベラルアーツ教育の構築を目指しています。
主な柱は、初年次教育の効率化と、学部後半から大学院にかけての教養教育の高度化です。



第1年次：基礎教育の効率化と専門への接続

専門教育への接続を重視した再編



専門科目の習得に直結する基礎知識・能力の習得を、より効率的なカリキュラムへと再構築しました。



学力補強科目の全面廃止

従来の「学力補強科目」は廃止となり、正課教育全体の中で学力を担保する体制へ移行します。



技術科学基礎科目の整理

数学・物理・化学などの基礎科目を、専門課程で必要とされるレベルに合わせて最適化しました。



第3年次・博士前期課程：リベラルアーツ教育の高度化



「リベラルアーツ 発展科目」の新設

人文・社会科学の枠を超え、発展的な教養を学ぶ新たな区分を整備しました。



人文・社会科学領域科目の 再編・統合

既存の多数の科目を「発展科目」へ移行し、より高度で多角的な視点を獲得できる構成に改めました。



学部から大学院までの一貫した教養教育

博士前期課程においても、数理と哲学の融合や自然科学特論など、高度なリベラルアーツ科目を展開します。

変化3：実践教育（産学共創・共修キャリア教育）

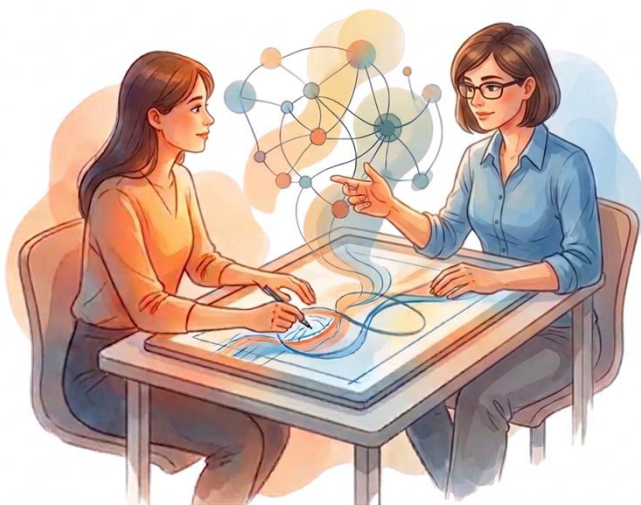
3 学部から大学院まで途切れない「実践型総合科目群」



- 獲得した知識を実際の社会課題に応用する力を養うため、学部から大学院まで途切れることなく一貫した「実践型総合科目群」が新設されます。
- 具体的には、学部2年次の「産学共修ものづくり研究」、学部3年次の「総合科目」、大学院での「高度技術科学者育成特論」などが新たに設置されます。
- 「卒業研究」の開始時期が、従来の学部4年次から学部3年次後期へと早期化されます。

変化4：指導体制と未来起点教育

4 教員は、「シラバスの提供者」から「カリキュラムの伴走者」へ



主指導教員

学部3年次後期「卒業研究I」から早期配属

学生

副指導教員

自分野・必要に応じて他分野の教員

研究室配属の早期化

将来像から逆算した学びを支援するため、研究室の配属時期が学部3年次後期へと前倒し

定期的な面談で伴走型指導

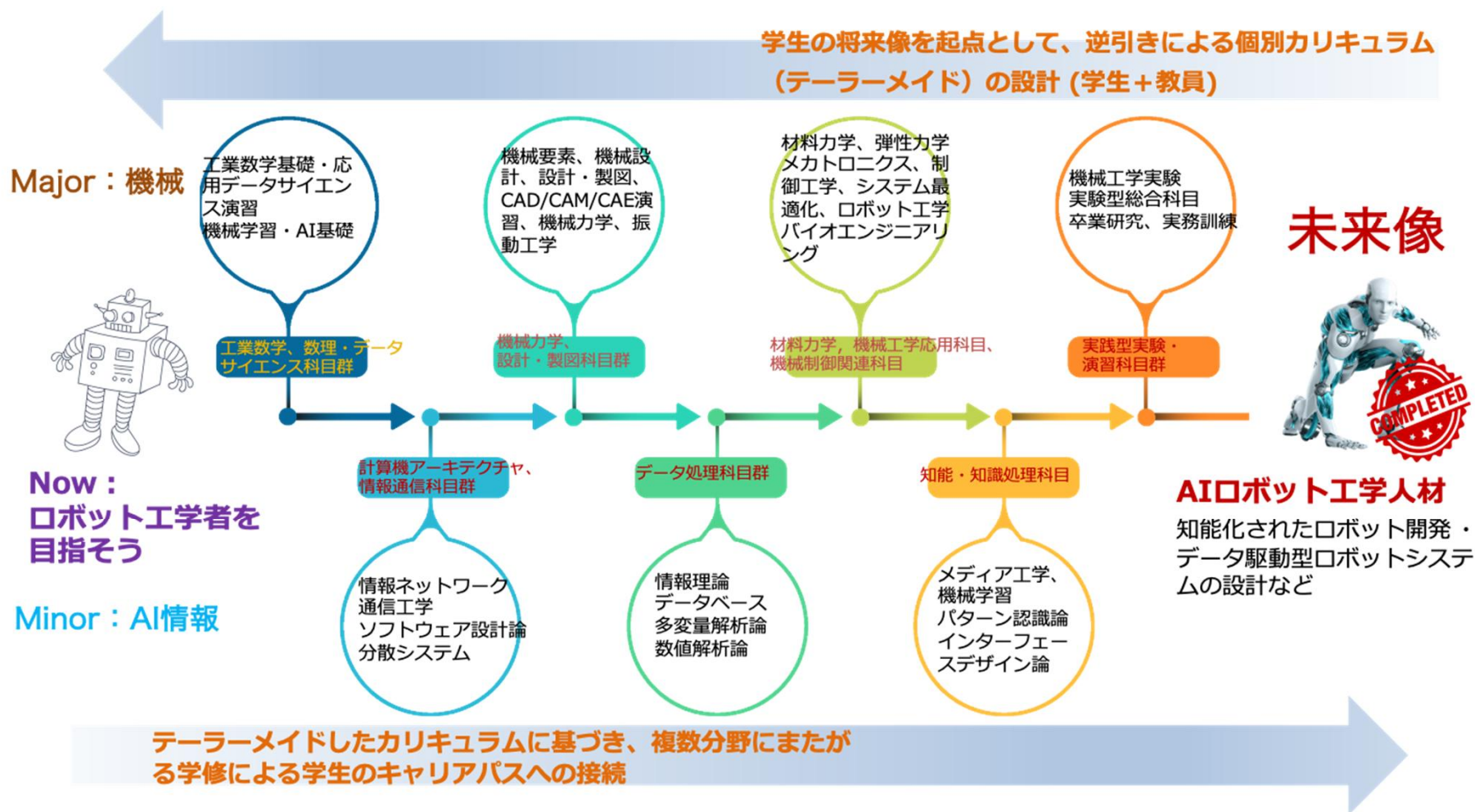
学期ごとにクラス担任や指導教員と「カリキュラム面談」を行い、学生個別のカリキュラムを設計

複数指導体制

キャリア目標達成のため、必要に応じて所属分野の枠を超え、他分野の教員を副指導教員に配置できる

変化4：指導体制と未来起点教育－Major/Minorの例

未来：AIロボット工学者⇒（Major）機械＋（Minor）AI情報



何が変わるのか（改組の全体像）

別添資料 4

本学が定義する「学際共創：Transdisciplinary」

複数の学問分野を掛け合わせる「学際」は一般に「Interdisciplinary」と訳されています。

本学の「学際共創」は、英語名称で **Transdisciplinary** と定義しています。

一般に、Transdisciplinarityは「**超学際**」と訳されています。「超学際」は、単に複数の学問分野を掛け合わせる「学際」とは異なり、大学などの研究者だけでなく、一般市民や企業、行政などの多様な関係者も巻き込んで社会との対話を通じて複雑な課題を解決しようとするアプローチを指します。

つまり、本学の**学際共創課程・専攻は、学問分野の枠を超えて、社会・地域・企業などの実践的な知と対話・協働して新たな知を創造するための教育組織**であることを意味します。

本学は、社会課題を解決する専門人材（Social Doctor/Innovator）である高専卒業生を主に受け入れ、技術科学に立脚した研究教育を通じて社会課題解決のための高度専門人材を養成します。国内外社会の大きな変化の中、そのミッション達成には、大学の枠を超え、**実社会との対話による新たな知の共創、すなわち学際共創アプローチが必須**となっています。今回の改組はこの要請に応えるものです。

教育目標（養成する人材像）と関連する 3 ポリシー（学部）

教育目標（養成しようとする人材像）

豊かな人間性と社会性、グローバルな感性と倫理観を備え、

【DP(1,2,3),CP(1,2,3,6),AP(1,2,3)】

学際的な基礎専門知識と実践的技能を活用し、

【DP(2,4,5),CP(2,4,5,6),AP(2,4,5)】

社会との対話を通じて、課題を解決する創造的能力を発揮して、地域社会・国際社会の持続的発展に貢献できる高度専門人材

【DP(4,5),CP(4,5,6),AP(4,5)】

※【】内は関連する 3 ポリシーを示す

ディプロマ・ポリシー

(1) 科学的知識とリベラルアーツの理解

工学的なものづくりに必要となる科学的基礎知識を有し、リベラルアーツを幅広く理解している。

(2) 横断的な技術科学分野の知識と実践的技能

主分野を含む横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を有している。

(3) 責任感、倫理観と継続的学修力

社会的価値観に基づく倫理観を持ち、社会の一員として責任ある行動を取り、主体的に学び続ける力を有している。

(4) 論理的思考力、多様性の理解と協働力

情報を整理し論理的に思考する力を備え、多様性を理解し、多様な文化的背景のある人々と協働する力を有している。

(5) 知識を統合し、発想力と実行力により課題を解決する力

横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を効果的に応用し、柔軟な視点で発想力と実行力を統合して、課題を解決する力を有している。

- DP,CP,APは基本的に 1 対 1 の関連性で作成
- CA(6)は成果の可視化の観点のため、全てのDPと関連することとなる

カリキュラム・ポリシー

(1) 科学的知識とリベラルアーツの理解

工学的なものづくりへの関心を高める自然科学、人文科学、社会科学、外国語等の科目を配置しています。

(2) 横断的な技術科学分野の知識と実践的技能

横断的な技術科学分野の基礎専門知識を修得し、実践的技能を養成するために、主分野を含む技術科学分野の科目を配置しています。

(3) 責任感、倫理観と継続的学修力

社会の一員としての責任感、社会的価値観に基づく倫理観と主体的に学び続ける力を養成するための教育を実施しています。

(4) 論理的思考力、多様性の理解と協働力

情報を整理し論理的に思考する力、多様性を理解し、多様な文化的背景のある人々と協働する力を養成するための教育を実施しています。

(5) 知識を統合し、発想力と実行力により課題を解決する力

横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を効果的に応用し、柔軟な視点で発想力と実行力を統合して、課題を解決する力を養成するための教育を実施しています。

(6) 学生の学修成果の可視化

ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力と科目の達成目標との対応をシラバスに明確に示し、成績の評価法・基準により客観的に成績評価を行い、知識と能力の達成度を評価します。

アドミッション・ポリシー

(1) 多様な社会と文化に理解と関心のある人

(2) 技術・科学に強い関心を持ち、学修に必要な基本的知識・技能のある人

(3) 責任感、倫理観を持ち、知識・技能を主体的に学び、自らの可能性を広げようとする人

(4) 自分の考えを説明でき、多様な人々と協力することができる人

(5) 知識・技能を活用して、新しい技術を生み出す意欲のある人

3 ポリシーと学修・教育到達目標の関連性【DP1・CP1：知識・理解（基礎）⇔AP1＝知的関心】

別添資料 6

DP1＝知識・理解（基礎）

(1) 科学的基礎知識とリベラルアーツの理解

工学的なものづくりに必要となる科学的基礎知識を有し、リベラルアーツを幅広く理解している。

CP1＝知識・理解（基礎）

(1) 科学的基礎知識とリベラルアーツの理解

工学的なものづくりへの関心を高める自然科学、人文科学、社会科学、外国語等の科目を配置しています。

AP1＝知的関心

(1) 多様な社会と文化に理解と関心のある人

教養科目

育成すべき知識・能力/科目配置の考え方

1-1：数学

技術者に求められる数学的思考力を養い、工学の応用力を高める科目を配置

1-2：自然科学（物理、化学、情報リテラシー等）

工学の土台となる科学的知識を修得し、技術開発に活かす科目を配置

1-3：工学基礎

理論と実践を組み合わせ、技術設計・開発の基盤を構築する科目を配置

1-4：リベラルアーツ

技術の社会的・文化的影響を理解し、倫理的判断力と協調力を養いながら、社会的価値や文化的背景を把握し、社会問題の解決と持続可能な未来の設計に貢献できる科目を配置

1-5：技術者倫理

技術が社会に与える影響を理解し、倫理的な判断を育む科目を配置

学修・教育到達目標

- ・ 微分・積分、線形代数、複素関数の基礎知識や概念を数学的問題に適用できる。
- ・ 物理、化学等の自然科学の知識や概念を工学問題に適用できる。
- ・ 基礎工学（機械工学概論、電気・電子工学概論等）、工学基礎実験・計測、数値解析等の基礎知識を工学問題の実験や解析に適用できる。
- ・ 科学技術と社会との関わりについて基礎的に理解し、技術者としての倫理観を身につけるとともに、他者と協調しながら多様な価値観を尊重して行動することができる。
- ・ 技術が社会に与える影響や責任について基礎的に理解し、技術者として倫理的に配慮した判断や行動をとることができる。

3 ポリシーと学修・教育到達目標の関連性【DP2・CP2：知識・理解（専門） ⇔ AP2＝知識・技能】

DP2＝知識・理解（専門分野）

(2) 横断的な技術科学分野の知識と実践的技能

主分野を含む横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を有している。

CP2＝知識・理解（専門分野）

(2) 横断的な技術科学分野の基礎知識と実践的技能

横断的な技術科学分野の専門知識を修得し、実践的技能を養成するために、主分野を含む技術科学分野の科目を配置しています。

AP2＝知識・技能

(2) 技術・科学に強い関心を持ち、学修に必要な基本的知識・技能のある人

専門科目

育成すべき知識・能力/科目配置の考え方

2-1：機械工学（学問分野）

数学、情報、機械設計、材料・加工、力学、制御、応用、実験・実習の科目群を配置

2-2：電気工学（学問分野）

数学、情報、電気・電子工学、電気化学、応用、実験・実習の科目群を配置

2-3：情報工学（学問分野）

数学、情報、プログラミング、計算機、ソフトウェア、ロボット、メディア、応用、実験・実習の科目群を配置

2-4：化学工学（学問分野）

数学、情報、化学、生命、応用、実験・実習の科目群を配置

2-5：建設工学（学問分野）

数学、情報、建設工学、応用、実験・実習の科目群を配置

学修・教育到達目標

- 機械工学の基盤となる力学、制御、システム工学、材料工学、生産加工学、エネルギー変換工学等について基礎的知識を理解して説明できる。
- 電気工学の発展を支える電気電子材料、エネルギーシステムなどの基盤技術分野、集積化した電子デバイスやセンサー分野、無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野等について基礎的知識を理解して説明できる。
- 情報工学の基盤となる情報工、情報通信工学、情報科学等について基礎的知識を理解して説明できる。
- 化学工学の基盤となる応用化学、生命科学分野に関する基礎的知識を理解して説明できる。
- 建設工学の基盤となる建築分野と社会基盤分野に関する基礎的知識を理解して説明できる。
- 基礎的な実験・実習を安全かつ正確に実施し、得られた結果を論理的に分析・解釈して説明できる。

3 ポリシーと学修・教育到達目標の関連性

【DP3・CP3：態度・志向性（道徳的能力） ⇔ AP3＝道徳的能力】

DP3＝態度・志向性（道徳的能力） (3) 責任感、倫理観と継続的学修力 社会的価値観に基づく倫理観を持ち、社会の一員として責任ある行動を取り、主体的に学び続ける力を有している。		CP3＝態度・志向性（道徳的能力） (3) 責任感、倫理観と継続的学修力 社会の一員としての責任感、社会的価値観に基づく倫理観と主体的に学び続ける力を養成するための教育を実施しています。		AP3＝道徳的能力 (3) 責任感、倫理観を持ち、知識・技能を主体的に学び、自らの可能性を広げようとする人
--	--	--	--	---

専門科目	学修・教育到達目標
育成すべき知識・能力/科目配置の考え方 3-1：技術者倫理の基本原則を一般的な問題に適用できる。（責任感）単なる法律遵守にとどまらず、技術者としての責任感や公正さを持って社会の課題に対応する力を養成する教育を実施 3-2：技術者としての社会的責任（倫理観（独創性の尊重、公共心））技術が社会に与える影響を理解し、倫理的・持続可能な選択を行う力を養成する教育を実施 3-3：継続した主体的学修力（主体性）技術や知識が進化し続ける社会において、主体的に学び続ける力を養成する教育を実施 3-4：未来志向性・キャリアデザイン（未来志向性・キャリアデザイン）、（企業活動理解）、（学習と企業活動の関連）変化する社会や技術の進展に対応しながら、自分のキャリアを戦略的に設計し、成長し続ける力を養成する教育を実施 3-5：グローバル感性、異文化理解、多文化理解（グローバル感性、異文化理解、多文化理解）異なる文化や価値観を尊重し、多様な社会で協働・共感できる力を養成する教育を実施	- 技術者倫理の基本原則を用いて実務の場でとるべき倫理的行動を考えることができる。 - 社会・健康・安全・法律・文化・環境などに関する知識を、一般的な問題の解決の際に適用できる。 - 自主的に継続して学修する必要性と方法を理解している。 - 企業活動や社会課題に関心を持ち、それらと自らの学びとの関連を理解することができる。 - 将来のキャリアや社会貢献について基礎的な視点から考察することができる。 - 単なる知識の習得にとどまらず、異なる文化や価値観を受け入れ、国際社会で協働・共感できる能力、柔軟な思考を持つことができる。

3 ポリシーと学修・教育到達目標の関連性【DP4・CP4：汎用的技能（応用的能力）⇔ AP4＝応用的能力】

DP4＝汎用的技能（応用的能力）

(4) 論理的思考力、多様性の理解と協働力

情報を整理し論理的に思考する力を備え、多様性を理解し、多様な文化的背景のある人々と協働する力を有している。

CP4＝汎用的技能（応用的能力）

(4) 論理的思考力、多様性の理解と協働力

情報を整理し論理的に思考する力、多様性を理解し、多様な文化的背景のある人々と協働する力を養成するための教育を実施しています。

AP4＝応用的能力

(4) 自分の考えを説明でき、多様な人々と協力することができる人

専門科目

育成すべき知識・能力/科目配置の考え方

4-1：課題発見・解決力（課題発見・解決力）

問題から課題を見つけ出し、それを解決するための方法を考え、実行する力を養成する教育を実施

4-2：論理的思考力（論理的思考力）、（情報収集・活用・発信力）

情報を整理し、筋道を立てて問題を分析し解決する力を養成する教育を実施

4-3：コミュニケーションスキル（コミュニケーションスキル）、（合意形成）

他者と情報や考えを効果的に伝え合い、理解し合うための力を養成する教育を実施

4-4：チームワーク、自己管理能力、リーダーシップ、マネジメントチャンスを活かす能力（チームワーク力、自己管理能力、リーダーシップ）

技術力と協調力を兼ね備え、社会に貢献できるエンジニアになる力を養成する教育を実施

4-5：数理データ分析力（統計解析力）

データを数理的な手法を用いて解析し、意味のある情報を導き出す力を養成する教育を実施

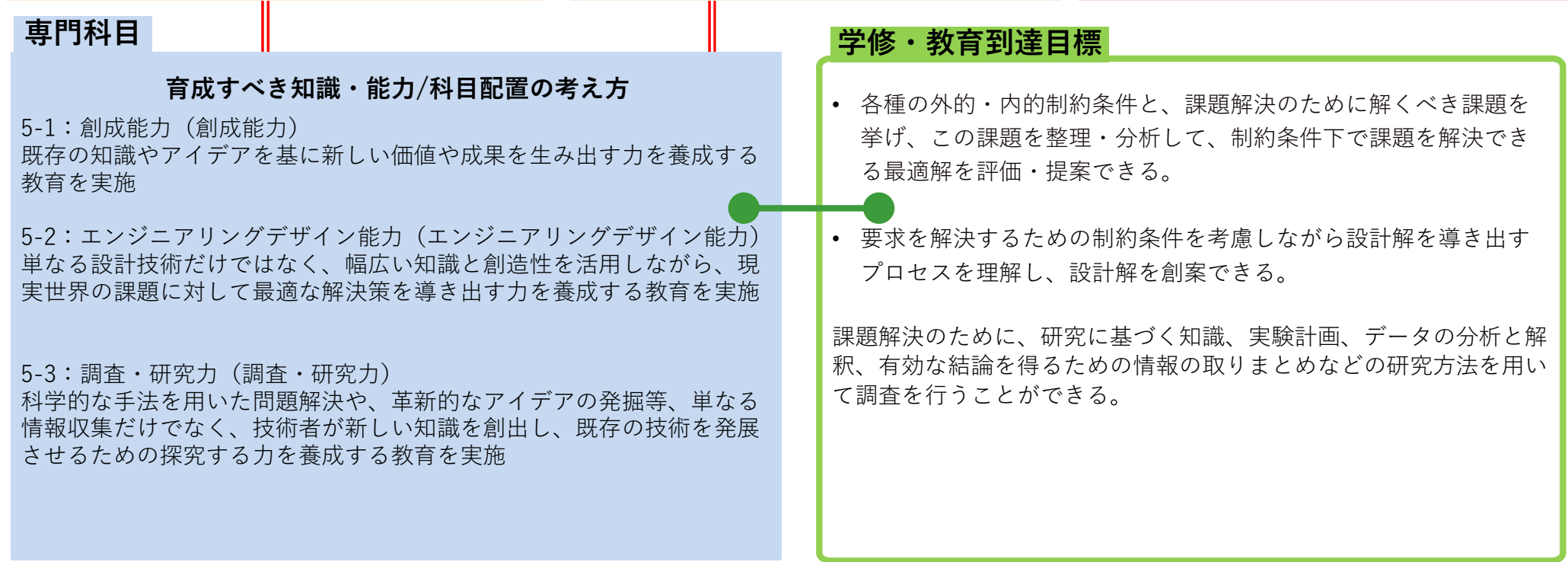
学修・教育到達目標

- 課題発見、情報の収集と分析、課題解決などの手法を用い、当該分野の工学問題の課題を挙げ、その問題の構造を分析できる。
- 問題を構造的に捉え、合理的な解決策を導き出すことができる。
- 他人の意見を分析・理解できるとともに、自らの意見を論理的な文章や口頭説明として整理し、まとめることができる。
- 英語等の外国語を用いて日常的な意見交換ができる。
- 同分野の専門家であるチームメンバーと意見交換を行い、チーム内での自らのなすべき行動を分析し、これを実行することができる。
- ICT等を用いて多様な情報を適切に収集し、数学や統計の理論を活用して、データを数理的に分析・解析できる。

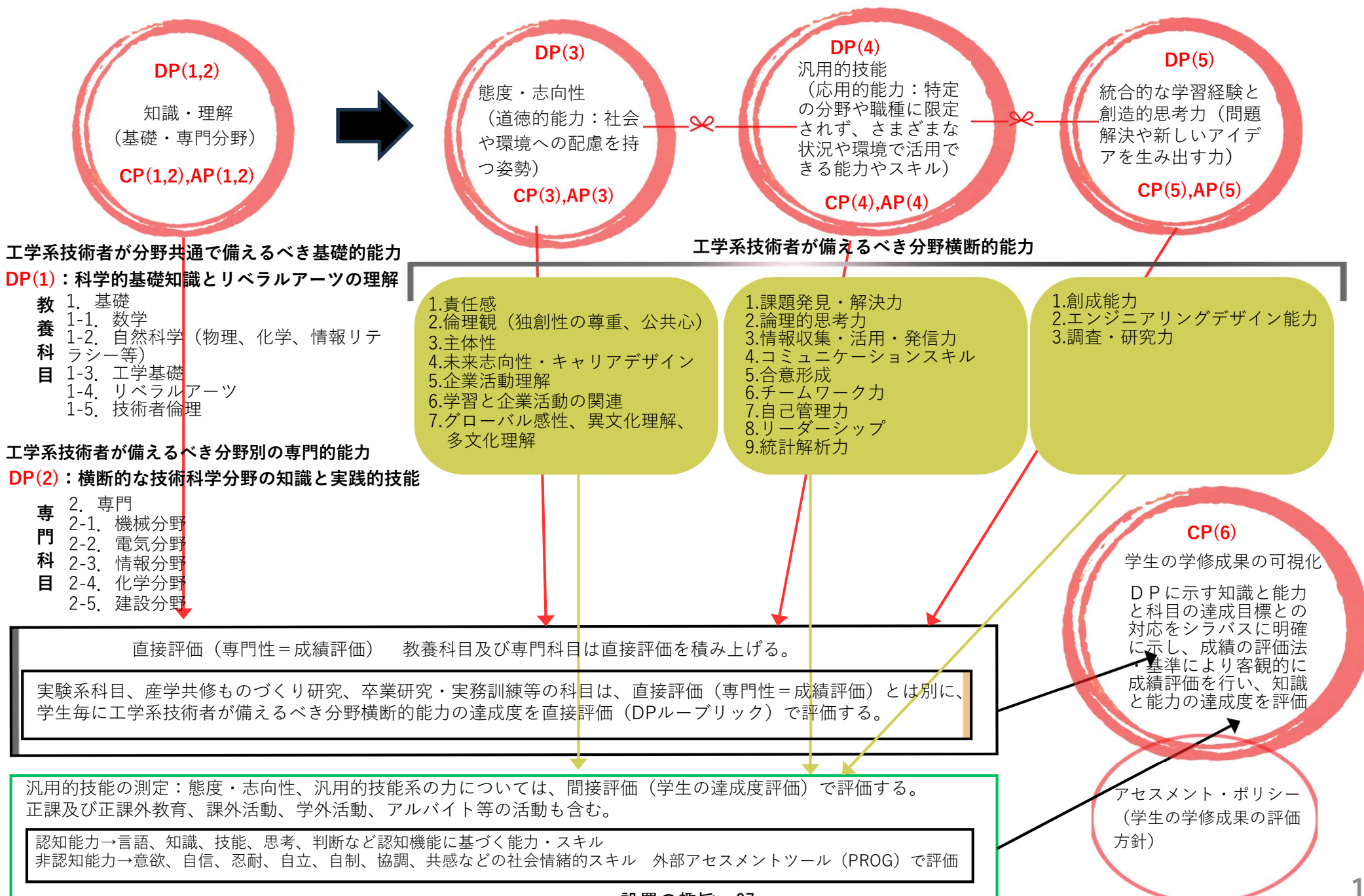
3 ポリシーと学修・教育到達目標の関連性

【DP 5・CP 5：統合的な学習経験と創造的思考力（課題解決や新しいアイデアを生み出す） ⇔ AP 5＝課題解決や新しいアイデアを生み出す力】

DP5＝ 統合的な学習経験と創造的思考力（課題解決や新しいアイデアを生み出す力） (5) 知識を統合し、発想力と実行力により課題を解決する力 横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を効果的に応用し、柔軟な視点で発想力と実行力を統合して、課題を解決する力を有している。	CP5＝統合的な学習経験と創造的思考力（課題解決や新しいアイデアを生み出す力） (5) 知識を統合し、発想力と実行力により問題を解決する力 横断的な技術科学分野の基礎専門知識と実践的技能を効果的に応用し、柔軟な視点で発想力と実行力を統合して、課題を解決する力を養成するための教育を実施しています。	AP5＝課題解決や新しいアイデアを生み出す力 (5) 知識・技能を活用して、新しい技術を生み出す意欲のある人
--	---	--



工学部と大学院工学研究科まで連続した3ポリシーと学修すべき知識・能力（科目群）の明確化



【履修モデルの例】学部・大学院博士前期課程 バイオチップ診断システム開発人材育成の知識・技能逆引きのカリキュラムマップ：主分野【機械】他分野【化学・電気・情報】

バイオチップ診断システム開発人材育成の目的

学部：主専門である「機械分野」の基盤の上に、「化学・電気・情報」の知見を融合させ、バイオチップや医療機器といった高度な診断デバイスを開発できる「実践的・専門的」な人材、次世代の医療・診断技術を牽引する人材を育成する。

大学院：学部で培った機械分野の基盤に加え、学際的知識をさらに深化させ、「化学・電気・情報・生命科学」を統合的に活用し、バイオチップおよび診断システムの設計・制御・解析・評価を一貫して実施できる高度専門職人材を育成する。

		入門的・導入的科目 (Basic:レベル1)		基礎的科目(学部前半) (Basic/Middle:レベル2)		専門的科目(学部後半) (Middle:レベル3)		実践的・専門的科目 (Middle/Advanced:レベル4)		実践的・専門的科目 (Middle/Advanced:レベル4)		実践的・専門的科目 (Advanced:レベル5)					
		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		博士前期課程		博士前期課程(最終段階)					
学習内容		・工学的課題を数理的に表現できる。 ・必要な数学・物理・化学の基礎を理解する。 ・数理・自然科学の基礎理解、工学的思考を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。		・機械工学の基盤となる知識・能力を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。		・バイオチップの開発・設計・制御に必要な機械工学の知識・能力を修得し、必要な化学・電気工学・情報工学の基盤となる専門知識を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。		・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用してバイオチップ・診断システムの開発・設計する能力を養う。		・学部段階で修得した機械工学と化学・電気・情報分野の基礎・応用知識を体系的に発展させ、それらを横断的に活用して実社会の課題解決を行うことのできる実践的能力を修得し、バイオチップ・診断システム開発人材を育成する。							
教養科目	区分	科目群		学部1・2年レベル		区分	科目群		学部3・4年レベル		区分	科目群		博士前期課程レベル			
	技術科学基礎科目	数学基礎科目群		微分積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計													
		自然科学基礎科目群		物理学基礎Ⅰ、化学基礎Ⅰ、情報学基礎、プログラミング演習													
		工学基礎科目群		工学概論、理工学実験													
	保健体育基礎科目	保健体育基礎科目群		運動の科学、体育・スポーツ・基礎													
	リベラルアーツ入門科目 外国人留学生特例入門科目	分野横断入門科目群 人文科学入門科目群 社会科学入門科目群 学術日本語入門科目群		分野横断、哲学、史学、文学(2単位以上)、法学、経済学、経営学、心理学、社会学(2単位以上)の学問分野の授業科目			リベラルアーツ基礎科目 リベラルアーツ発展科目 アントレプレナーシップ科目		人文科学科目群 自然科学科目群 社会科学科目群 アントレプレナーシップ科目群			哲学、歴史学、文学、言語学、一般科学、生理学、衛生学、法学・政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、社会科学の学問分野の授業科目(2単位以上) ・分野横断発展、人間と社会、言語と文化、理念と自然、ビジネス実践の学問分野の授業科目(2単位以上)					
	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群		英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語			外国語科目		英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群			英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語					
学術素養科目	学術素養科目群		SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論			学術素養科目 外国人留学生特例科目		学術素養科目群 学術日本語科目			技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論						
実践知科目	グローバルキャリア科目群		異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト			実践知科目		グローバルキャリア科目群			異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト						
キャリア教育	体験型人材育成プログラム																
	グローバルテクノロジー人材育成プログラム 多文化共修プログラム(日本人学生と外国人留学生の共修、市民との共修、フィールドトリップ、TEAM活動、海外研修) ①技術科学創力:問題の本質を探り当て、社会を変革する技術をデザインする力、②グローバル共創力:多様な価値観・知識・経験を持ったメンバーとチームを構成し、共に学びながら共創する力、③インクルーシブなリーダーシップ力:チームメンバーの文化や個性の違いを超えて共感を醸成し、チーム全体を牽引する力、を有するグローバルテック・イノベーターを育成																
	産学共創トランスファブルスキル教育プログラム		B1 ・キャリア構築の重要性について ・工学と実社会との繋がりに関するキャリア教育 ・キャリアガイダンス(大学院進学による多様なキャリア選択の意義について) ・専門分野別キャリアパス面談		B2 ・実務家教員による基礎キャリア教育(社会/産業/業界/企業を知る/働くを知る、自己を知る) ・企業担当者、本学OB社員による学内企業研究会 ・社会・産業界における技術者・研究者に求められる力		B3 ・実務訓練(事前教育必修)産学共創トランスファブルスキル教育(汎用的技能コース/態度・志向性コース) ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)		B4 ・実務訓練(必修) ・マナー講座等 ・学内企業研究会		M1・M2 ・実務訓練(事後教育必修)実務訓練の経験の振り返りと、夏のインターンシップの意義と選び方について ・全学対象産学共創キャリア教育講義 ・ドクター進学について ・進路ガイダンス ・学内企業研究会 ・身だしなみ・マナー、面接対策について ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)		D ・博士後期課程3年間の過ごし方に関するガイダンス ・ドクターのキャリアを考える ・博士学生ION1ミーティング(キャリア形成サポート) ・高度技術科学者育成特論(必修) ・全学対象の産学共創キャリア教育講義 ・他大学生との連携キャリアガイダンス ・全専攻対象の分野横断・複合領域の産学共創キャリア教育講義				
		キャリア形成の基礎意識を育む		社会・産業界の理解と自己理解を深める		実務経験を通じて実践的スキルを身につける 社会人としてのマナー、実務力を確立する		高度専門人材としてのキャリア形成を実践的に考える		高度専門人材としてのキャリア形成支援							
専門科目	区分	科目群	学部1年レベル	学部2年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル	
	主専門分野 機械	工業数学科目群		微分方程式、工業応用数学Ⅰ、工業応用数学Ⅱ、工業応用数学Ⅲ、工業応用数学Ⅳ		数理・データサイエンス・AI演習応用				数理・データサイエンス・AI演習応用				工業数学科目群		工業数学科目群	
		数理・データサイエンス科目群		数理・データサイエンス・AI演習基礎		機械設計Ⅰ、機械設計Ⅱ				機械設計Ⅰ、機械設計Ⅱ				数理・データサイエンス科目群		数理・データサイエンス科目群	
		設計・製図科目群	機械工学概論、設計製図Ⅰ	設計製図Ⅱ、設計製図Ⅲ		生産加工学Ⅲ、生産加工学Ⅳ				生産加工学Ⅲ、生産加工学Ⅳ				設計・製図科目群		設計・製図科目群	
		加工・生産学科目群	機械工作法	生産加工学Ⅰ、生産加工学Ⅱ		機械材料基礎、機械材料Ⅰ、機械材料Ⅱ、構造材料学、材料信頼性工学				機械材料基礎、機械材料Ⅰ、機械材料Ⅱ、構造材料学、材料信頼性工学				加工・生産学科目群		加工・生産学科目群	
		材料工学関連科目群		機械材料基礎		振動工学				振動工学				材料工学関連科目群		材料工学関連科目群	
		機械力学関連科目群		機械力学		弾性力学				弾性力学				機械力学関連科目群		機械力学関連科目群	
		材料力学関連科目群		材料力学		熱流体輸送学、燃焼工学				熱流体輸送学、燃焼工学				材料力学関連科目群		材料力学関連科目群	
		熱力学関連科目群	工業熱力学Ⅰ	工業熱力学Ⅱ		応用制御工学Ⅰ、応用制御工学Ⅱ				応用制御工学Ⅰ、応用制御工学Ⅱ				熱力学関連科目群		熱力学関連科目群	
		流体力学関連科目群	水力学	流体力学		機械工学実験、機械工学セミナーⅠ				機械工学実験、機械工学セミナーⅠ				流体力学関連科目群		流体力学関連科目群	
機械制御関連科目群		計測工学概論			機械工学実践型総合科目群				機械工学実践型総合科目群				機械制御関連科目群		機械制御関連科目群		
機械工学応用科目群				機械工学実践型総合科目群				機械工学実践型総合科目群				機械工学応用科目群		機械工学応用科目群			
機械工学実験科目群		機械工作実習		機械工学実践型総合科目群				機械工学実践型総合科目群				機械工学実験科目群		機械工学実験科目群			
機械工学実践型総合科目群		機械総合科目Ⅰ		機械工学実践型総合科目群				機械工学実践型総合科目群				機械工学実践型総合科目群		機械工学実践型総合科目群			
他専門分野	区分	科目群	学部1、2年レベル	学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル	
	他専門分野 化学	分析化学科目群		分析化学				分析化学				分析化学科目群		分析化学科目群		分析化学科目群	
		生命科学・生命工学科目群	生命科学	応用生命科学				応用生命科学				生命科学・生命工学科目群		生命科学・生命工学科目群		生命科学・生命工学科目群	
	他専門分野 電気	電気回路工学科目群	電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ	機械学習・パターン認識論				電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ				電気回路工学科目群		電気回路工学科目群		電気回路工学科目群	
		情報通信工学科目群	信号解析論					信号解析論				情報通信工学科目群		情報通信工学科目群		情報通信工学科目群	
		電力基礎科目群	電気計測					電気計測				電力基礎科目群		電力基礎科目群		電力基礎科目群	
		電気化学応用科目群						電気化学応用科目群				電気化学応用科目群		電気化学応用科目群		電気化学応用科目群	
	他専門分野 情報	工業数学科目群		応用線形代数論				工業数学科目群				工業数学科目群		工業数学科目群		工業数学科目群	
		データサイエンス科目群	データ分析序					データサイエンス科目群				データサイエンス科目群		データサイエンス科目群		データサイエンス科目群	
		情報通信科目群		情報ネットワーク				情報通信科目群				情報通信科目群		情報通信科目群		情報通信科目群	
計算機アーキテクチャ科目群			ソフトウェア設計論、分散システム論				計算機アーキテクチャ科目群				計算機アーキテクチャ科目群		計算機アーキテクチャ科目群		計算機アーキテクチャ科目群		
知能・知識処理科目群			機械学習・パターン認識論				知能・知識処理科目群				知能・知識処理科目群		知能・知識処理科目群		知能・知識処理科目群		
		区分	科目群	学部1、2年レベル	学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		学部3年レベル		学部4年レベル		
		他専攻分野 化学	分析化学科目群		分離科学特論、顕微観察技術特論				分析化学科目群				分析化学科目群		分析化学科目群		
			生命科学・生命工学科目群		分子生命科学特論、応用ゲノム科学特論、生体制御科学特論、分子細胞生物工学特論、光生物学特論				生命科学・生命工学科目群				生命科学・生命工学科目群		生命科学・生命工学科目群		
			電気回路工学科目群		機械工学大学院特別講義Ⅰ、機械工学大学院特別講義Ⅱ				電気回路工学科目群				電気回路工学科目群		電気回路工学科目群		
			情報通信工学科目群		情報技術実務演習、課題解決型実務演習				情報通信工学科目群				情報通信工学科目群		情報通信工学科目群		
			電力基礎科目群		機械工学実践型総合科目群				電力基礎科目群				電力基礎科目群		電力基礎科目群		
		他専攻分野 電気	電気化学応用科目群		機械工学大学院特別講義Ⅰ、機械工学大学院特別講義Ⅱ				電気化学応用科目群				電気化学応用科目群		電気化学応用科目群		
			情報通信工学科目群		情報技術実務演習、課題解決型実務演習				情報通信工学科目群				情報通信工学科目群		情報通信工学科目群		
			電力基礎科目群		機械工学大学院特別講義Ⅰ、機械工学大学院特別講義Ⅱ				電力基礎科目群				電力基礎科目群		電力基礎科目群		
			電気化学応用科目群		機械工学大学院特別講義Ⅰ、機械工学大学院特別講義Ⅱ				電気化学応用科目群				電気化学応用科目群		電気化学応用科目群		
			電気化学応用科目群		機械工学大学院特別講義Ⅰ、機械工学大学院特別講義Ⅱ				電気化学応用科目群				電気化学応用科目群		電気化学応用科目群		
		他専攻分野 情報	工業数学科目群		数値解析・最適化工学特論				工業数学科目群				工業数学科目群		工業数学科目群		
			データサイエンス科目群		Data Science and AnalysisⅠ、Data Science and AnalysisⅡ、統計的機械学習特論				データサイエンス科目群				データサイエンス科目群		データサイエンス科目群		
			情報通信科目群		情報通信システム特論Ⅰ、情報通信システム特論Ⅱ、ネットワークアーキテクチャ特論				情報通信科目群				情報通信科目群		情報通信科目群		
			計算機アーキテクチャ科目群		計算機システム特論Ⅰ、計算機システム特論Ⅱ				計算機アーキテクチャ科目群				計算機アーキテクチャ科目群		計算機アーキテクチャ科目群		
			知能・知識処理科目群		計算機システム特論Ⅰ、計算機システム特論Ⅱ				知能・知識処理科目群				知能・知識処理科目群		知能・知識処理科目群		

バイオチップ診断システム開発人材

【履修モデルの例】学部・大学院博士前期課程 半導体センサー人材育成の知識・技能逆引きの履修モデル:主分野【電気】他分野【機械】・【情報】

半導体センサー人材育成の目的

学部:主専門である「電気分野」の基盤の上に、機械・情報の知見を融合させ、半導体センサーの設計・製造・評価を理解し、AI・データ解析を活用できる「実践的・専門的」な人材、実社会の多様な分野でセンサー技術に応用・実践できる人材を育成する。

大学院:学部で培った電気分野の基盤に加え、電気・機械・情報の統合的知識を基盤に、半導体センサー技術の高度化と新規応用の創出を担う研究開発型人材を育成する。

入門的・導入的科目 (Basic/レベル1)	基礎的科目(学部前半) (Basic/Middle/レベル2)
学部1年	学部2年
・工学の課題を数理的に表現できる。 ・必要な数学・物理・化学の基礎を理解する。 ・数理・自然科学の基礎理解、工学的思考を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。	・電気工学の基礎となる知識・能力を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。

専門的科目(学部後半) (Middle/レベル3)	実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)
学部3年	学部4年
・半導体センサーの設計・製造・評価に必要な電気工学の知識・能力を修得し、必要な機械工学・情報工学の基盤となる専門知識を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。	・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学部段階で修得した電気工学と機械・情報分野の基礎・応用知識を体系的に発展させ、それらを横断的に活用して実社会の課題解決を行うことのできる実践的能力を修得し、半導体センサー人材を育成する。	

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。	

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。	

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。	

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。	

実践的・専門的科目 (Middle/Advanced/レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced/レベル5)
学部4年	大学院博士前期課程(最終段階)
・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、半導体センサーの設計・製造・評価する能力を養う。	

教養科目	区分	科目群	学部1・2年レベル	区分	科目群	学部3・4年レベル	区分	科目群	博士前期課程レベル	
	技術科学基礎科目	数学基礎科目群	微分積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計							
		自然科学基礎科目群	物理学基礎Ⅰ、化学基礎Ⅰ、情報学基礎、プログラミング演習							
		工学基礎科目群	工学概論、理工学実験							
	保健体育基礎科目	保健体育基礎科目群	運動の科学、体育・スポーツ基礎							
		リベラルアーツ入門科目 外国人留学生特設入門科目	分野横断入門科目群 人文科学入門科目群 社会科学入門科目群 社会科学入門科目群 学術日本語入門科目群	分野横断、哲学、史学、文学(2単位以上)、法学、経済学、経営学、心理学、社会学(2単位以上)の学際分野の授業科目 リベラルアーツ発展科目 アントレプレナーシップ科目群	人文科学科目群 自然科学科目群 社会科学科目群 アントレプレナーシップ科目群	・哲学、歴史学、文学、言語学、一般科学、生理学、衛生学、法学・政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、社会科学の学際分野の授業科目(2単位以上) ・分野横断発展、人間と社会、言語と文化、理念と自然、ビジネス実践の学際分野の授業科目(2単位以上)	・哲学、歴史学、文学、言語学、一般科学、生理学、衛生学、法学・政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、社会科学の学際分野の授業科目(2単位以上) ・分野横断発展、人間と社会、言語と文化、理念と自然、ビジネス実践の学際分野の授業科目(2単位以上)			
	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語				
	学術素養科目	学術素養科目群	SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語	技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論			
	実践知科目	グローバルキャリア科目群	異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語	異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	実践知科目	グローバルキャリア科目群	グローバルリーダー演習、グローバルキャリア開発実習
	キャリア教育	体験型人材育成プログラム								
グローバルタレント/バー ・人材育成プログラム										
多文化共修プログラム(日本人学生と外国人留学生の共修、市民との共修、フィールドトリップ、TEAM活動、海外研修) ①技術科学創力:問題の本質を探り当て、社会を革新する技術を生み出す力、②グローバル共創力:多様な価値観・知識・経験を持ったメンバーとチームを構成し、共に学びながら共創する力、③インクルーシブリーダーシップ力:チームメンバーの文化や個性の違いを超えて共感を醸成し、チーム全体を牽引する力、を有するグローバルテック・イノベーターを育成										
産学共創・トランスファダブルスキル教育プログラム										
B1 ・キャリア構築の重要性について ・工学と実社会との繋がりに関するキャリア教育 ・キャリアガイダンス(大学院進学による多様なキャリア選択の意義について) ・専門分野別キャリアパス図説										
B2 ・実務家教員による基礎キャリア教育 (社会/産業/業界/企業を知る/働くを知る、自己を知る) ・企業担当者、本学OB社員による学内企業研究会 ・社会・産業界における技術者・研究者に求められる力										
B3 ・実務訓練(事前教育必修)産学共創トランスファダブルスキル教育(汎用的技能コース/態度・志向性コース) ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)										
B4 ・実務訓練(必修) ・マナー講座等 ・学内企業研究会										
M1-M2 ・実務訓練(事後教育必修)実務訓練の経験の振り返りと、夏のインターンシップの意義と過ごし方について ・全学対象産学共創キャリア教育講義 ・ドクター進学について ・進路ガイダンス ・学生企業研究会 ・身だしなみマナー、面接対策について ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)										
D ・博士後期課程3年間の過ごし方に関するガイダンス ・ドクターのキャリアを考える ・博士学生ION1ミーティング(キャリア形成サポート) ・高度技術科学者育成特論(必修) ・全学対象の産学共創キャリア教育講義 ・他大学院との連携キャリアガイダンス ・全専攻対象の分野横断・複合領域の産学共創キャリア教育講義										
キャリア形成の基礎意識を育む										
社会・産業界の理解と自己理解を深める										
実務経験を通じて実践的スキルを身につける 社会人としてのマナー、実務力を確立する										
高度専門人材としてのキャリア形成を実践的に考える										
高度専門人材としてのキャリア形成支援										
専門科目	区分	科目群	学部1年レベル	学部2年レベル	学部3年レベル	学部4年レベル	科目群	博士前期課程1年レベル	博士前期課程2年レベル	
	主専門分野 (電気)	実践数学科目群	電気・電子情報数学Ⅰ、電気・電子情報数学Ⅱ	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	数値解析 数値データサイエンス(AI)演習基礎、数値データサイエンス(AI)演習応用 電気回路論 電子回路論 解析電磁気学 論理回路論 量子力学、固体電子工学Ⅰ、半導体工学 情報理論、制御工学、高周波回路工学、通信工学、信号解析論 電力工学Ⅱ 物理化学、無機化学、応用物理化学	
		数値・データサイエンス科目群	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用	数値・データサイエンス(AI)演習基礎、数値・データサイエンス(AI)演習応用
		電気回路工学科目群	電気回路Ⅰ	電気回路Ⅱ	電気回路Ⅲ	電気回路Ⅳ	電気回路Ⅴ	電気回路Ⅵ	電気回路Ⅶ	電気回路Ⅷ
		電子回路工学科目群	電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ	電子回路Ⅲ、電子回路Ⅳ	電子回路Ⅴ、電子回路Ⅵ	電子回路Ⅶ、電子回路Ⅷ	電子回路Ⅸ、電子回路Ⅹ	電子回路Ⅺ、電子回路Ⅻ	電子回路Ⅼ、電子回路Ⅽ	電子回路Ⅾ、電子回路Ⅿ
		電磁気学科目群	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習	基礎電磁気学、基礎電磁気学演習
		電子工学科目群	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路
		半導体工学科目群	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路	基礎論理回路
		情報通信工学科目群	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論	通信工学概論
		電力基礎科目群	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ	電気機械工学Ⅰ、電気機械工学Ⅱ、電気計測、電力工学Ⅰ
電気化学基礎科目群										
電力応用科目群										
電気化学応用科目群										
電気・電子情報工学実務科目群	電気・電子情報工学基礎実習	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ	電気・電子情報工学実務Ⅰ、電気・電子情報工学実務Ⅱ		
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										
電気・電子情報工学実務総合科目群										

知能ロボティクス人材育成の目的

学部：主専門である「情報分野」の基盤の上に、機械の知見を融合させ、情報と機械の境界領域において、AI・データサイエンスを活用して知能化された高度なシステムを設計・実装できる「実践的・専門的」な人材、実社会の多様な分野でAI・データサイエンスを活用して応用・実践できる人材を輩出する。

大学院：学部で培った情報分野の基盤に加え、情報・機械の統合的知識を基盤に、知能ロボティクス分野における高度な専門性と研究開発能力を深化させ、産業・社会の課題解決を先導できる創造的専門人材を育成する。

入門的・導入的科目 (Basic:レベル1)				基礎的科目(学部前半) (Basic/Middle:レベル2)				専門的科目(学部後半) (Middle:レベル3)				実践的・専門的科目 (Middle/Advanced:レベル4)				実践的・専門的科目 (Advanced:レベル5)																																																					
学部1年				学部2年				学部3年				学部4年				大学院博士前期課程																																																					
学習内容				・工学的課題を数理的に表現できる。 ・必要な数学、物理、化学の基礎を理解する。 ・数理、自然科学の基礎理解、工学的思考を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。				・情報工学の基礎となる知識・能力を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。				・知能ロボティクスに必要なとなる情報工学の知識・能力を修得し、必要な機械工学の基礎となる専門知識を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。				・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、知能ロボティクスの核となる情報処理技術の能力を養う。				・学部段階で修得した情報工学と機械分野の基礎・応用知識を体系的に発展させ、それらを横断的に活用して実社会の課題解決を行うことのできる実践的能力を修得し、知能ロボティクス人材を育成する。																																																	
教養科目	区分	科目群	学部1・2年レベル				区分	科目群	学部3・4年レベル				区分	科目群	博士前期課程レベル																																																						
	技術科学基礎科目	数学基礎科目群	微分積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計				リベラルアーツ基礎科目 リベラルアーツ発展科目 アントレプレナースhip科目	人文科学科目群 自然科学科目群 社会科学科目群 アントレプレナースhip科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語 技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity-Tech概論 異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語

デジタルケミストリ人材育成の目的

学部:主専門である「化学分野」の基盤の上に、情報の知見を融合させ、化学を中心に据えながら、情報科学やデータサイエンスなどの他分野の知識を統合的に理解できる「実践的・専門的」な人材を輩出する。

大学院:

	入門的・導入的科目 (Basic:レベル1)	基礎的科目(学部前半) (Basic/Middle:レベル2)	専門的科目(学部後半) (Middle/Advanced:レベル3)	実践的・専門的科目 (Middle/Advanced:レベル4)	実践的・専門的科目 (Middle/Advanced:レベル4)	実践的・専門的科目 (Advanced:レベル5)
	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院博士前期課程	大学院博士前期課程(最終段階)
学習内容	・工学的課題を数理的に表現できる。 ・必要な数学・物理・化学の基礎を理解する。 ・数理・自然科学の基礎理解、工学的思考を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。	・化学工学の基盤となる知識・能力を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。	・化学の原理をもとに物質やエネルギーの変換・分離・合成などのプロセスを設計・最適化に必要なとなる化学工学の知識・能力を修得し、必要な情報工学の基盤となる専門知識を修得する。 ・技術の社会的背景を理解するための教養を修得する。	・学修した主専門および他専門分野の専門知識・能力を横断的に活用して、実験室レベルの化学反応を、産業規模で実現する能力を養う。		・学部段階で修得した化学工学と情報分野の基礎・応用知識を体系的に発展させ、それらを横断的に活用して実社会の課題解決を行うことのできる実践的能力を修得し、学際応用化学人材を育成する。

教 養 科 目	区分	科目群	学部1・2年レベル		区分	科目群	学部3・4年レベル		区分	科目群	博士前期課程レベル
	技術科学基礎科目	数学基礎科目群	微分積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計		リベラルアーツ基礎科目 リベラルアーツ発展科目 アントレプレナーシップ科目	人文科学科目群 自然科学科目群 社会科学科目群	・哲学、歴史学、文学、言語学、一般科学、生理学、衛生学、法学・政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、社会科学の学問分野の授業科目(2単位以上) ・分野横断発展、人間と社会、言語と文化、理念と自然、ビジネス実践の学問分野の授業科目(2単位以上)	・哲学、歴史学、文学、言語学、一般科学、生理学、衛生学、法学・政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、社会科学の学問分野の授業科目(2単位以上) ・分野横断発展、人間と社会、言語と文化、理念と自然、ビジネス実践の学問分野の授業科目(2単位以上)			
		自然科学基礎科目群	物理学基礎Ⅰ、化学基礎Ⅰ、情報学基礎、プログラミング演習								
		工学基礎科目群	工学概論、理工学実験								
	保健体育基礎科目	保健体育基礎科目群	運動の科学、体育・スポーツ・基礎								
	リベラルアーツ入門科目 外国人留学生特例入門科目	分野横断入門科目群 人文科学入門科目群 社会科学入門科目群 学術日本語入門科目群	分野横断、哲学、史学、文学(2単位以上)、法学、経済学、経営学、心理学、社会学(2単位以上)の学問分野の授業科目								
	外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語		外国語科目	英語科目群 フランス語科目群 中国語科目群	英語 Listening & Writing、英語 Reading & Writing フランス語 中国語				
	学術素養科目	学術素養科目群	SDGs概論、CPS基礎、Diversity・Tech概論		学術素養科目 外国人留学生特例科目	学術素養科目群 学術日本語科目	技術者倫理、SDGs概論、CPS基礎、Diversity・Tech概論				
	実践知科目	グローバルキャリア科目群	異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト		実践知科目	グローバルキャリア科目群	異文化コミュニケーションプログラム、国際共創型 社会デザインプロジェクト	実践知科目	グローバルキャリア科目群	グローバル・リーダー演習、グローバルキャリア開発実習	

体験型人材育成プログラム	
グローバルテクノロジーイノベーター人材育成プログラム	多文化共修プログラム(日本人学生と外国人留学生の共修、市民との共修、フィールドトリップ、TEAM活動、海外研修)。 ①技術科学創成力:問題の本質を探り当て、社会を変革する技術をデザインする力、②グローバル共創力:多様な価値観・知識・経験を持ったメンバーとチームを構成し、共に学びながら共創する力、③インクルーシブなリーダーシップ力:チームメンバーの文化や個性の違いを超えて共感を醸成し、チーム全体を牽引する力、を有するグローバルテック・イノベーターを育成
キャリア教育	産学共創トランスファラブルスキル教育プログラム
	B1 ・キャリア構築の重要性について ・工学と実社会との繋がりに関するキャリア教育 ・キャリアガイダンス(大学院進学による多様なキャリア選択の意義について) ・専門分野別キャリアパス面談
	B2 ・実務家教員による基礎キャリア教育 (社会/産業/業界/企業を知る/働くを知る、自己を知る) ・企業担当者、本学OB社員による学内企業研究会 ・社会・産業界における技術者・研究者に求められる力
	B3 ・実務訓練(事前教育必修)産学共創トランスファラブルスキル教育(汎用的技能コース/態度・志向性コース) ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)
	B4 ・実務訓練(必修) ・マナー講座等 ・学内企業研究会
	M1・M2 ・実務訓練(事後教育必修)実務訓練の経験の振り返りと、夏のインターンシップの意義と選び方について ・全学対象産学共創キャリア教育講義 ・ドクター進学について ・進路ガイダンス ・学内企業研究会 ・身だしなみ・マナー、面接対策について ・キャリアアップセミナー(企業活動理解/未来志向・キャリアデザイン)
	D ・博士後期課程3年間の過ごし方に関するガイダンス ・ドクターのキャリアを考える ・博士学生1ON1ミーティング(キャリア形成サポート) ・高度技術科学者育成特論(必修) ・全学対象の産学共創キャリア教育講義 ・他大学生との連携キャリアガイダンス ・全専攻対象の分野横断・複合領域の産学共創キャリア教育講義
	キャリア形成の基礎意識を育む
	社会・産業界の理解と自己理解を深める
	実務経験を通じて実践的スキルを身につける 社会人としてのマナー、実務力を確立する
	高度専門人材としてのキャリア形成を実践的に考える
	高度専門人材としてのキャリア形成支援

専 門 科 目	区分	科目群	学部1年レベル	学部2年レベル	学部3年レベル	学部4年レベル	博士前期課程1年レベル	博士前期課程2年レベル
	主専門分野 化学	実用数学科目群		化学・生命数理、応用化学・生命数理	化学・生命数理、応用化学・生命数理		実用数学科目群	
		数理データサイエンス科目群		数理・データサイエンス・AI演習基礎、数理・データサイエンス・AI演習応用			数理データサイエンス科目群	
		物理化学科目群	基礎物理化学	物理化学、応用物理化学	物理化学、応用物理化学		物理化学科目群	物理化学特論、分子物理化学特論、反応性プラズマ化学特論
		分析化学科目群	基礎分析化学	分析化学、応用分析化学	分析化学、応用分析化学		分析化学科目群	分離科学特論、顕微鏡観察技術特論
		無機化学科目群	基礎無機化学	無機化学、応用無機化学	無機化学、応用無機化学		無機化学科目群	環境触媒工学特論
		有機化学・高分子化学科目群	基礎有機化学	有機化学、応用有機化学	有機化学、応用有機化学	高分子化学、応用高分子化学	有機化学・高分子化学科目群	有機反応工学特論、有機材料工学特論、超分子化学特論、高分子化学特論
		化学工学科目群		化学工学、応用化学工学	化学工学、応用化学工学		化学工学科目群	超臨界流体工学特論
		生命科学・生命工学科目群	基礎生命科学	生命科学、応用生命科学	生命科学、応用生命科学	生物工学、応用生物工学	生命科学・生命工学科目群	分子生命科学特論、応用ゲノム科学特論、生体制御科学特論、分子細胞生物工学特論、光生物学特論
		化学工学応用科目群					化学工学応用科目群	
		化学・生命総合科目群			化学・生命安全倫理、化学・生命総合科目、応用化学特別講義、生命科学特別講義、化学・生命関連領域各論		化学・生命総合科目群	化学・生命大学院特別講義Ⅰ、化学・生命大学院特別講義Ⅱ
他 分 野 《 情 報 》	化学・生命実験科目群	化学・生命実験入門		化学・生命基礎実験	化学・生命実験		化学・生命実験科目群	
	化学・生命実践科目群				化学・生命演習Ⅰ	化学・生命演習Ⅱ	化学・生命実践科目群	化学・生命実践科目群
他 分 野 《 情 報 》	工業数学科目群	離散数学基礎、知識情報数学				離散数学論	工業数学科目群	数値解析・最適化工学特論
	データサイエンス科目群	データ分析序論、数理・データサイエンス・AI演習基礎、数理・データサイエンス・AI演習応用			数理・データサイエンス・AI演習基礎、数理・データサイエンス・AI演習応用		データサイエンス科目群	Data Science and Analysis Ⅰ、Data Science and Analysis Ⅱ、統計的機械学習特論
	一般科目群	情報・知能工学概論					一般科目群	
	プログラミング演習科目群	プログラミング応用演習Ⅰ、プログラミング応用演習Ⅱ、ソフトウェア演習ⅠA、ソフトウェア演習ⅠB			ソフトウェア演習ⅡA、ソフトウェア演習ⅡB		プログラミング演習科目群	シミュレーション特論、分子シミュレーション特論Ⅰ、分子シミュレーション特論Ⅱ
	情報通信科目群				情報ネットワーク、通信工学		情報通信科目群	情報通信システム特論Ⅰ、情報通信システム特論Ⅱ、ネットワークアーキテクチャ特論
	計算機アーキテクチャ科目群	論理回路			ソフトウェア設計論、分散システム、オペレーティングシステム	計算機アーキテクチャ	計算機アーキテクチャ科目群	計算機システム特論Ⅰ、計算機システム特論Ⅱ
	ソフトウェア科目群				形式言語論、コンパイル、暗号理論		ソフトウェア科目群	
	アルゴリズム科目群	アルゴリズムとデータ構造			計算理論		アルゴリズム科目群	
	ロボット科目群				デジタル信号処理		ロボット科目群	Robotic Perception and Human-Robot InteractionⅠ、Robotic Perception and Human-Robot InteractionⅡ
	データ処理科目群				情報理論、数値解析論、データベース		データ処理科目群	
	知能・知識処理科目群				機械学習・パターン認識論		知能・知識処理科目群	X Reality and PsychologyⅠ、X Reality and PsychologyⅡ、計算知能システム

デジタルケミストリ人材

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
1	機械工学課程	日本		海外実務訓練	Advantest (M) Sdn. Bhd.	マレーシア
2	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	MINI-CIRCUITS TECHNOLOGIES (MALAYSIA) SDN BHD	マレーシア
3	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad	マレーシア
4	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad	マレーシア
5	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad	マレーシア
6	機械工学課程	日本		海外実務訓練	M.E.I. Consultants Sdn. Bhd.	マレーシア
7	機械工学課程	日本		海外実務訓練	Panasonic Automotive Systems Malaysia Sdn Bhd	マレーシア
8	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	Panasonic Automotive Systems Malaysia Sdn Bhd	マレーシア
9	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	Minebea Electronics Motor (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア
10	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	Minebea Electronics Motor (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア
11	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	National Metal and Materials Technology Center	タイ
12	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	MapQuestAsia Corp., Ltd.	タイ
13	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Laboratoire d'Informatique, de Robotique et de Microélectronique	フランス
14	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Laboratoire d'Informatique, de Robotique et de Microélectronique	フランス
15	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	Menicon Malaysia Sdn Bhd	マレーシア
16	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	Menicon Malaysia Sdn Bhd	マレーシア
17	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	FUJI ELECTRIC (M) SDN BHD	マレーシア
18	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	MARUWA (MALAYSIA) SDN BHD	マレーシア
19	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	MARUWA (MALAYSIA) SDN BHD	マレーシア
20	機械工学課程	日本		海外実務訓練	Musashi Auto Part Co., Ltd.	タイ
21	機械工学課程	日本		海外実務訓練	MATSUI EASTERN(THAILAND)CO.,LTD.	タイ
22	機械工学課程	日本		海外実務訓練	MATSUI EASTERN(THAILAND)CO.,LTD.	タイ
23	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	SMC (Thailand) Ltd.	タイ
24	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	OPPSTAR TECHNOLOGY SDN BHD	マレーシア
25	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Argonne National Laboratory	アメリカ合衆国
26	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	OSG GmbH	ドイツ
27	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Ubon Ratchathani University	タイ
28	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Ubon Ratchathani University	タイ
29	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Granada	スペイン
30	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Jean Monnet University	フランス
31	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Jean Monnet University	フランス
32	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Chulalongkorn University	タイ
33	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Chulalongkorn University	タイ
34	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Eastern Finland	フィンランド
35	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Eastern Finland	フィンランド
36	情報・知能工学課程	モンゴル国	私費留学生	海外実務訓練	University of Eastern Finland	フィンランド
37	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Eastern Finland	フィンランド
38	応用化学・生命工学課程	日本		海外実務訓練	University of Sumatera Utara	インドネシア
39	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Universito of Oslo	ノルウェー
40	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Universito of Oslo	ノルウェー
41	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Universito of Oslo	ノルウェー
42	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	Gadjah Mada University	インドネシア
43	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	University of Cagliari	イタリア
44	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of New South Wales	オーストラリア
45	機械工学課程	日本		海外実務訓練	The University of Edinburgh	イギリス
46	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	Institute for Optoelectronic Systems and Microtechnology (ISOM)	スペイン
47	機械工学課程	日本		海外実務訓練	University of Stuttgart	ドイツ
48	建築・都市システム学課程	日本		海外実務訓練	Universiti Sains Malaysia	マレーシア
49	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Minho	ポルトガル
50	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	University of Minho	ポルトガル
51	機械工学課程	日本		海外実務訓練	Imperial College London	イギリス
52	機械工学課程	日本		海外実務訓練	National Cheng Kung University	台湾
53	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	Kookmin University	大韓民国
54	機械工学課程	日本		海外実務訓練	ブリティッシュコロンビア大学 (The University of British Columbia)	カナダ
55	建築・都市システム学課程	日本		海外実務訓練	パランカラヤ大学 (University of Palangka Raya) [UPR]	インドネシア
56	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	The University of Sheffield	イギリス
57	電気・電子情報工学課程	マレーシア	私費留学生	海外実務訓練	The University of Sheffield	イギリス
58	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	香港大学(The University of Hong Kong)	中華人民共和国
59	機械工学課程	日本		海外実務訓練	Ghent University	ベルギー
60	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	トロワ工科大学(The University of Technology of Troyes)	フランス
61	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	トロワ工科大学(The University of Technology of Troyes)	フランス
62	電気・電子情報工学課程	日本		海外実務訓練	トロワ工科大学(The University of Technology of Troyes)	フランス
63	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	國立清華大學	台湾
64	情報・知能工学課程	日本		海外実務訓練	國立清華大學	台湾
65	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アール・アイ・エー	大阪府大阪市北区
66	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アーレスティ	愛知県豊橋市
67	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	アイコム株式会社	大阪府大阪市平野区
68	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	アイコム株式会社	大阪府大阪市平野区
69	情報・知能工学課程	ブラジル連邦共和国	国費留学生	国内実務訓練	アイコム株式会社	大阪府大阪市平野区
70	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社あい設計	愛知県名古屋市中種区
71	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アイセロ	愛知県豊橋市
72	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アイセロ	愛知県豊橋市
73	機械工学課程	日本		国内実務訓練	あいち産業科学技術総合センター	愛知県刈谷市
74	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 A I H O	愛知県豊川市
75	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 A I H O	愛知県豊川市
76	機械工学課程	日本		国内実務訓練	旭メタルズ株式会社	愛知県豊川市
77	機械工学課程	日本		国内実務訓練	旭メタルズ株式会社	愛知県豊川市
78	機械工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
79	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
80	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
81	電気・電子情報工学課程	タイ王国	私費留学生	国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
82	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
83	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
84	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
85	情報・知能工学課程	インドネシア共和国	国費留学生	国内実務訓練	アズビル株式会社	神奈川県藤沢市
86	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社安藤・間	茨城県つくば市
87	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社安藤・間	茨城県つくば市
88	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社いい生活	東京都港区
89	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 伊藤建築設計事務所	愛知県名古屋市中区
90	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	イノチオホールディングス株式会社	愛知県豊橋市
91	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社岩間工業所	静岡県静岡市清水区
92	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ウェブインパクト	愛知県豊橋市
93	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ウェブインパクト	愛知県豊橋市
94	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社エスワイシステム	愛知県名古屋市中区
95	機械工学課程	日本		国内実務訓練	N S K ワーナー株式会社	静岡県袋井市
96	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社NJS	愛知県名古屋市中区
97	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社NJS	愛知県名古屋市中区
98	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	F D K 株式会社	静岡県湖西市
99	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	F D K 株式会社	静岡県湖西市
100	機械工学課程	日本		国内実務訓練	オーエスジー株式会社	愛知県豊川市
101	機械工学課程	日本		国内実務訓練	大羽精研株式会社	愛知県豊橋市
102	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社蔵創	愛知県豊橋市
103	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	鹿島建設株式会社	愛知県名古屋市長穂区
104	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	鹿島建設株式会社	愛知県北設楽郡設楽町
105	機械工学課程	インドネシア共和国	私費留学生	国内実務訓練	株式会社 G A F S	愛知県刈谷市
106	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	加山興業株式会社	愛知県豊川市
107	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	加山興業株式会社	愛知県豊川市
108	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	川研ファインケミカル株式会社	静岡県磐田市
109	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	岐建株式会社	岐阜県大垣市
110	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	協同特殊鋼線株式会社	埼玉県入間市
111	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社熊谷組	愛知県名古屋市中区
112	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社隈研吾建築都市設計事務所	東京都港区
113	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	クロスイメージング株式会社	東京都品川区
114	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社計測リサーチコンサルタント	広島県広島市東区
115	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社構研エンジニアリング	北海道札幌市中央区
116	機械工学課程	日本		国内実務訓練	高周波熱錬株式会社	神奈川県平塚市
117	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
118	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
119	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
120	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
121	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
122	電気・電子情報工学課程	インドネシア共和国	国費留学生	国内実務訓練	株式会社神戸製鋼所	兵庫県神戸市西区
123	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社小島組	愛知県名古屋市港区
124	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社小島組	愛知県名古屋市港区
125	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社小島組	愛知県名古屋市港区
126	機械工学課程	日本		国内実務訓練	コベルコ建機株式会社	兵庫県明石市
127	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	コベルコ建機株式会社	兵庫県明石市
128	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	小松開発工業株式会社	愛知県刈谷市
129	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	小松開発工業株式会社	愛知県刈谷市
130	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社コムワース	東京都大田区
131	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社コムワース	東京都大田区
132	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社サイエンス・クリエイト	愛知県豊橋市
133	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社サイエンス・クリエイト	愛知県豊橋市
134	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	ザインエレクトロニクス株式会社	東京都千代田区
135	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	ザインエレクトロニクス株式会社	東京都千代田区
136	機械工学課程	日本		国内実務訓練	三機工業株式会社	愛知県名古屋市中村区
137	電気・電子情報工学課程	マレーシア	政府派遣留学生	国内実務訓練	三機工業株式会社	愛知県名古屋市中村区
138	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 G S ユアサエナジー	香川県綾歌郡綾川町
139	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	JFEスチール株式会社	岡山県倉敷市
140	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社システムハウス	愛知県豊橋市
141	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社システムハウス	愛知県豊橋市
142	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	愛知県岡崎市
143	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	芝浦メカトロニクス株式会社	神奈川県横浜市栄区
144	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人情報通信研究機構	東京都小金井市
145	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人情報通信研究機構	東京都小金井市
146	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人情報通信研究機構	東京都小金井市
147	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	S W C C 株式会社	神奈川県相模原市中央区
148	機械工学課程	日本		国内実務訓練	アイシンシロキ株式会社	愛知県豊川市
149	機械工学課程	日本		国内実務訓練	アイシンシロキ株式会社	愛知県豊川市
150	機械工学課程	日本		国内実務訓練	アイシンシロキ株式会社	愛知県豊川市
151	機械工学課程	日本		国内実務訓練	アイシンシロキ株式会社	愛知県豊川市
152	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	新東工業株式会社	愛知県豊川市
153	機械工学課程	日本		国内実務訓練	スズキ株式会社	静岡県浜松市中央区
154	機械工学課程	日本		国内実務訓練	スズキ株式会社	静岡県浜松市中央区
155	機械工学課程	日本		国内実務訓練	スズキ株式会社	静岡県浜松市中央区
156	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社スペースクリエイション	静岡県浜松市中央区
157	機械工学課程	マレーシア	政府派遣留学生	国内実務訓練	株式会社スペースクリエイション	静岡県浜松市中央区
158	機械工学課程	マレーシア	私費留学生	国内実務訓練	株式会社スペースクリエイション	静岡県浜松市中央区

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
159	機械工学課程	日本		国内実務訓練	住友重機械工業株式会社	神奈川県横須賀市
160	機械工学課程	日本		国内実務訓練	住友重機械工業株式会社	神奈川県横須賀市
161	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	住友電気工業株式会社	茨城県日立市
162	機械工学課程	日本		国内実務訓練	住友電設株式会社	大阪府大阪市西区
163	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	住友電設株式会社	大阪府大阪市西区
164	情報・知能工学課程	カンボジア王国	国費留学生	国内実務訓練	株式会社スリーディー	神奈川県横浜市港北区
165	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	ソフトキューブ株式会社	大阪府大阪市中央区
166	応用化学・生命工学課程	カンボジア王国	私費留学生	国内実務訓練	大三紙業株式会社	愛知県豊橋市
167	機械工学課程	日本		国内実務訓練	大成ロテック株式会社	埼玉県鴻巣市
168	機械工学課程	日本		国内実務訓練	大同特殊鋼株式会社	愛知県名古屋市長区
169	機械工学課程	日本		国内実務訓練	大同メタル工業株式会社	愛知県大山市
170	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	大同メタル工業株式会社	愛知県大山市
171	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	太平洋精工株式会社	岐阜県大垣市
172	機械工学課程	日本		国内実務訓練	タツタ電線株式会社	京都府木津川市
173	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	タツタ電線株式会社	京都府木津川市
174	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	タツタ電線株式会社	大阪府東大阪市
175	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	タツタ電線株式会社	京都府木津川市
176	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	田原市役所	愛知県田原市
177	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	田原市役所	愛知県田原市
178	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	田原市役所	愛知県田原市
179	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	日本工営都市空間株式会社	愛知県名古屋市中区
180	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社中部	愛知県豊橋市
181	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社榎屋	愛知県知立市
182	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社椿本チエイン	京都府京田辺市
183	機械工学課程	日本		国内実務訓練	dSPACE Japan株式会社	東京都品川区
184	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	ローランド ディー、ジー、株式会社	静岡県浜松市浜名区
185	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社テクノ菱和	神奈川県横浜市都筑区
186	機械工学課程	日本		国内実務訓練	一般社団法人電線総合技術センター	静岡県浜松市浜名区
187	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	一般財団法人電力中央研究所	神奈川県横須賀市
188	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	東海カーボン株式会社	熊本県葦北郡芦北町
189	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	東芝テック株式会社	静岡県伊豆の国市
190	機械工学課程	日本		国内実務訓練	キオクシア株式会社	三重県四日市市
191	機械工学課程	日本		国内実務訓練	キオクシア株式会社	三重県四日市市
192	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	キオクシア株式会社	三重県四日市市
193	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	キオクシア株式会社	三重県四日市市
194	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	キオクシア株式会社	三重県四日市市
195	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	東洋建設株式会社	兵庫県西宮市
196	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	東レエンジニアリング株式会社	滋賀県大津市
197	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	東レエンジニアリング株式会社	滋賀県大津市
198	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ドーコン	北海道札幌市厚別区
199	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ドーコン	北海道札幌市厚別区
200	機械工学課程	日本		国内実務訓練	DOWAサーモテック株式会社	愛知県名古屋市中区
201	機械工学課程	日本		国内実務訓練	トビー工業株式会社	愛知県豊橋市
202	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社巴コーポレーション	東京都中央区
203	機械工学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
204	機械工学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
205	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
206	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
207	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
208	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
209	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
210	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
211	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
212	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	豊橋市役所	愛知県豊橋市
213	機械工学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
214	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
215	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
216	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
217	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
218	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
219	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
220	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
221	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
222	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
223	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
224	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中日本建設コンサルタント株式会社	愛知県名古屋市中区
225	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	ニッカ株式会社	東京都板橋区
226	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日新電機株式会社	京都府京都市右京区
227	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社日水コン	東京都新宿区
228	機械工学課程	日本		国内実務訓練	日本精工株式会社	神奈川県藤沢市
229	機械工学課程	日本		国内実務訓練	日本精工株式会社	神奈川県藤沢市
230	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	神奈川県厚木市
231	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	神奈川県厚木市
232	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	京都府相楽郡精華町
233	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	京都府相楽郡精華町
234	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	神奈川県厚木市
235	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	NTT株式会社	神奈川県厚木市
236	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ニデック	愛知県蒲郡市
237	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ニデック	愛知県蒲郡市

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
238	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ニデック	愛知県蒲都市
239	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ニデック	愛知県蒲都市
240	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日本板硝子株式会社	兵庫県伊丹市
241	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日本板硝子株式会社	兵庫県伊丹市
242	機械工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	茨城県那珂郡東海村
243	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	茨城県那珂郡東海村
244	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	茨城県那珂郡東海村
245	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	福井県敦賀市
246	機械工学課程	日本		国内実務訓練	一般社団法人日本建設機械施工協会	静岡県富士市
247	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	日本工営株式会社	東京都千代田区
248	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	NSW株式会社	東京都渋谷区
249	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	NSW株式会社	東京都渋谷区
250	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	NSW株式会社	東京都渋谷区
251	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	兵庫県神戸市中央区
252	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日本無線株式会社	長野県長野市
253	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	日本無線株式会社	長野県長野市
254	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ネットコム	愛知県豊橋市
255	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ネットコム	愛知県豊橋市
256	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ネットコム	愛知県豊橋市
257	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ネットコム	愛知県豊橋市
258	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	茨城県つくば市
259	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	茨城県つくば市
260	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社野川建設	愛知県豊橋市
261	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社野口製作所	愛知県豊橋市
262	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	長野県安曇野市
263	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	パイフォニクス株式会社	静岡県浜松市中央区
264	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	公益社団法人東三河地域研究センター	愛知県豊橋市
265	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社プロテリアル	島根県安来市
266	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ヒミカ	愛知県豊橋市
267	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ファンテックス	愛知県豊橋市
268	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ＦＵＪＩ	愛知県知立市
269	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ＦＵＪＩ	愛知県知立市
270	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社富士カーボン製造所	愛知県安城市
271	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社フジタ	神奈川県厚木市
272	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社フジヤマ	静岡県浜松市中央区
273	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人物質・材料研究機構	茨城県つくば市
274	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人物質・材料研究機構	茨城県つくば市
275	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人物質・材料研究機構	茨城県つくば市
276	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社不動テトラ	東京都中央区
277	機械工学課程	日本		国内実務訓練	古河電気工業株式会社	千葉県市原市
278	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	古河電気工業株式会社	神奈川県横浜市西区
279	電気・電子情報工学課程	大韓民国		国内実務訓練	古河電気工業株式会社	千葉県市原市
280	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	古野電気株式会社	兵庫県西宮市
281	情報・知能工学課程	モンゴル国	私費留学生	国内実務訓練	株式会社ブレインシティ	愛知県豊橋市
282	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
283	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
284	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
285	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
286	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
287	応用化学・生命工学課程	モンゴル国	私費留学生	国内実務訓練	本多電子株式会社	愛知県豊橋市
288	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社マップクエスト	愛知県豊橋市
289	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	マリモ電子工業株式会社	長野県上田市
290	機械工学課程	日本		国内実務訓練	三浦工業株式会社	愛媛県松山市
291	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	三浦工業株式会社	愛媛県松山市
292	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	三浦工業株式会社	愛媛県松山市
293	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ミットヨ	神奈川県川崎市高津区
294	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	三菱電機株式会社	神奈川県鎌倉市
295	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	三菱電機株式会社	兵庫県尼崎市
296	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社	愛知県名古屋市中区
297	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社	愛知県名古屋市中区
298	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ミマキエンジニアリング	長野県東御市
299	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ミマキエンジニアリング	長野県東御市
300	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	宮川工機株式会社	愛知県豊橋市
301	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	宮川工機株式会社	愛知県豊橋市
302	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	宮川工機株式会社	愛知県豊橋市
303	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	ミンテック ジャパン株式会社	愛知県蒲都市
304	機械工学課程	日本		国内実務訓練	武蔵精密工業株式会社	愛知県豊橋市
305	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社村田製作所	滋賀県野洲市
306	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社村田製作所	滋賀県野洲市
307	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	メッシュ株式会社	岐阜県各務原市
308	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社モルフォ	東京都千代田区
309	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社柳伸建築設計事務所	愛知県豊橋市
310	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社UACJ	愛知県名古屋市中区
311	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	リオン株式会社	東京都国分寺市
312	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人理化学研究所	埼玉県和光市
313	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人理化学研究所	埼玉県和光市
314	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人理化学研究所	埼玉県和光市
315	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社レクザム	香川県高松市
316	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所	愛知県名古屋市中区

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
317	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所	愛知県名古屋市中区
318	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所	愛知県名古屋市中区
319	機械工学課程	日本		国内実務訓練	宇都宮工業株式会社	愛知県豊川市
320	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オノコム	愛知県豊橋市
321	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オノコム	愛知県豊橋市
322	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オノコム	愛知県豊橋市
323	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ソミック石川	静岡県浜松市中央区
324	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ソミック石川	静岡県浜松市中央区
325	機械工学課程	日本		国内実務訓練	日本ガイシ株式会社	愛知県名古屋市長穂区
326	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オージーケーカブト	大阪府東大阪市
327	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オージーケーカブト	大阪府東大阪市
328	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社オージーケーカブト	大阪府東大阪市
329	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社中神設計事務所	愛知県豊橋市
330	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社日産オートモーティブテクノロジー	愛知県名古屋市長穂区
331	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社佐藤工務店	愛知県豊橋市
332	機械工学課程	日本		国内実務訓練	マツイ株式会社	愛知県豊橋市
333	機械工学課程	日本		国内実務訓練	マツイ株式会社	愛知県豊橋市
334	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社Lirem	愛知県豊橋市
335	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社Lirem	愛知県豊橋市
336	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社Lirem	愛知県豊橋市
337	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社Lirem	愛知県豊橋市
338	機械工学課程	日本		国内実務訓練	川西塗装株式会社	愛知県豊橋市
339	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	川西塗装株式会社	愛知県豊橋市
340	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ナレッジワーク	東京都港区
341	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ナレッジワーク	東京都港区
342	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	日鉄鉱業株式会社	東京都西多摩郡日の出町
343	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	中央製乳株式会社	愛知県豊橋市
344	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	中央製乳株式会社	愛知県豊橋市
345	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	中央製乳株式会社	愛知県豊橋市
346	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社木村鋳造所	静岡県駿東郡清水町
347	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社パートナーズ	愛知県豊橋市
348	機械工学課程	日本		国内実務訓練	興和オプトロニクス株式会社	愛知県名古屋市長区
349	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	中部テレコミュニケーション株式会社	愛知県名古屋市中区
350	機械工学課程	日本		国内実務訓練	金井ホールディングス株式会社	兵庫県小野市
351	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	金井ホールディングス株式会社	兵庫県小野市
352	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所	東京都品川区
353	機械工学課程	日本		国内実務訓練	山九株式会社	千葉県市原市
354	機械工学課程	日本		国内実務訓練	山九株式会社	千葉県市原市
355	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	山九株式会社	千葉県市原市
356	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	富士フイルムソフトウェア株式会社	埼玉県さいたま市北区
357	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	富士フイルムソフトウェア株式会社	埼玉県さいたま市北区
358	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	サーラエナジー株式会社	愛知県豊橋市
359	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	サーラエナジー株式会社	愛知県豊橋市
360	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社牧野フライス製作所	神奈川県愛甲郡愛川町
361	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	五洋建設株式会社	栃木県那須塩原市
362	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	五洋建設株式会社	栃木県那須塩原市
363	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	五洋建設株式会社	栃木県那須塩原市
364	情報・知能工学課程	マレーシア	政府派遣留学生	国内実務訓練	株式会社IGSA	東京都文京区
365	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ブラネット	愛知県豊橋市
366	機械工学課程	日本		国内実務訓練	浜名エンジニアリング株式会社	愛知県豊橋市
367	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	浜名エンジニアリング株式会社	愛知県豊橋市
368	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社あくしゅ	東京都渋谷区
369	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 環境生物化学研究所	栃木県那須郡那珂川町
370	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社OptTech	愛知県豊橋市
371	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社OptTech	愛知県豊橋市
372	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社OptTech	愛知県豊橋市
373	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 I T A G E	愛知県名古屋市中区
374	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 I T A G E	愛知県名古屋市中区
375	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日本分光株式会社	東京都八王子市
376	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	日本分光株式会社	東京都八王子市
377	応用化学・生命工学課程	カンボジア王国	国費留学生	国内実務訓練	積水ポリマテック株式会社	埼玉県さいたま市桜区
378	機械工学課程	日本		国内実務訓練	わらべや日洋ホールディングス株式会社	東京都武蔵村山市
379	電気・電子情報工学課程	マレーシア	私費留学生	国内実務訓練	わらべや日洋ホールディングス株式会社	東京都武蔵村山市
380	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社フコク	群馬県邑楽郡千代田町
381	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社 東鵬開発	北海道函館市
382	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	中央コンサルタンツ株式会社	愛知県名古屋市中区
383	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	ローム株式会社	京都府京都市右京区
384	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	日本データサービス株式会社	北海道札幌市東区
385	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日置電機株式会社	長野県上田市
386	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	日置電機株式会社	長野県上田市
387	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社トーマーコーポレーション	愛知県名古屋市長区
388	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ヒューマンサポートテクノロジー	茨城県那珂郡東海村
389	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	兼八産業株式会社	愛知県豊橋市
390	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	兼八産業株式会社	愛知県豊橋市
391	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社MARUWA	岐阜県土岐市
392	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	合同会社Z2A	愛知県豊橋市
393	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	合同会社Z2A	愛知県豊橋市
394	情報・知能工学課程	インドネシア共和国	国費留学生	国内実務訓練	合同会社Z2A	愛知県豊橋市
395	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社FieldWorks	新潟県長岡市

	所属	国籍名	留学生区分名	履修予定プログラム	機関名	派遣先地域 国内：市区町村 海外：国名
396	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社住まいるコーポレーション	静岡県浜松市中央区
397	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社クリモト	愛知県岩倉市
398	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ニュージェック	大阪府大阪市北区
399	機械工学課程	日本		国内実務訓練	シンニチ工業 株式会社	愛知県豊川市
400	情報・知能工学課程	モンゴル国	私費留学生	国内実務訓練	シンニチ工業 株式会社	愛知県豊川市
401	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社三五	愛知県みよし市
402	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ヤマト製作所	静岡県浜松市浜名区
403	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社ヤマト製作所	静岡県浜松市浜名区
404	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社電業社機械製作所	静岡県三島市
405	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社電業社機械製作所	静岡県三島市
406	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社電業社機械製作所	静岡県三島市
407	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日本ゼオン株式会社	神奈川県川崎市川崎区
408	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	コーンズテクノロジー株式会社	東京都江東区
409	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社平安コーポレーション	静岡県浜松市浜名区
410	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	神谷理研株式会社	静岡県浜松市中央区
411	機械工学課程	マレーシア	政府派遣留学生	国内実務訓練	株式会社アミタマシーンズ	愛知県豊橋市
412	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社トータルネットワークサービス	愛知県豊橋市
413	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社トータルネットワークサービス	愛知県豊橋市
414	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アラヤ	東京都千代田区
415	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社アラヤ	東京都千代田区
416	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	株式会社神谷綜合建設	愛知県豊橋市
417	機械工学課程	日本		国内実務訓練	日亜化学工業株式会社	徳島県阿南市
418	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	日亜化学工業株式会社	徳島県阿南市
419	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	日亜化学工業株式会社	徳島県阿南市
420	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	日亜化学工業株式会社	徳島県阿南市
421	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社モルテン	広島県広島市西区
422	機械工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社モルテン	広島県広島市西区
423	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	株式会社モルテン	広島県広島市西区
424	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	サーラ不動産株式会社	愛知県豊橋市
425	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	サーラ不動産株式会社	愛知県豊橋市
426	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	神野建設株式会社	愛知県豊橋市
427	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	デンカ株式会社	福岡県大牟田市
428	建築・都市システム学課程	日本		国内実務訓練	協和設計株式会社	愛知県名古屋市中村区
429	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	豊橋信用金庫	愛知県豊橋市
430	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	グローリー株式会社	兵庫県姫路市
431	電気・電子情報工学課程	ラオス人民民主共和国	国費留学生	国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
432	機械工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
433	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
434	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
435	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
436	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
437	機械工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
438	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
439	電気・電子情報工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
440	応用化学・生命工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県つくば市
441	情報・知能工学課程	日本		国内実務訓練	国立研究開発法人産業技術総合研究所	東京都江東区

230171

実務訓練受入承諾書

豊橋技術科学大学長

若原 昭浩 殿

2025年度豊橋技術科学大学実務訓練学生の実入について承諾します。

2025 年 10 月 21 日

機関名

代表者

役職

氏名

代表取締役社長

実務訓練期間

※本学の定める実務訓練期間を記載していますので、必ずしも貴機関の定める期間ではありません。

自 2026年 1月 6日

至 2026年 2月 20日

Facilities

施設紹介

355,606㎡の広大な敷地に、快適で、充実した学修環境を整えています。



60 TUTグローバルハウス(G棟)



50 トレーニングジム



トレーニングジム(ウエイト系)



46 福利施設



食堂



喫茶室



売店



54～60 学生宿舎 [A～G棟]



44 附属図書館



1 A講義棟(大講義室)

- 1 A講義棟
- 2 A1講義棟
- 3 A2講義棟
- 4 B研究棟
- 5 B1学生実験棟
- 6 B2研究実験棟
- 7 B3大学院研究実験棟
- 8 C研究棟
- 9 C1学生実験棟
- 10 C2研究実験棟
- 11 C3研究実験棟
- 12 D研究棟
- 13 D1学生実験棟
- 14 D2研究実験棟
- 15 D3研究実験棟
- 16 D4大学院研究実験棟
- 17 E0低層実験棟
- 18 E1低層実験棟
- 19 E2低層実験棟
- 20 E3低層実験棟
- 21 E4低層実験棟
- 22 E5低層実験棟
- 23 F研究棟
- 24 F1研究実験棟
- 25 総合研究実験棟

- 26 G研究棟
- 27 G1研究実験棟
- 28 植物工場
- 29 集積化センサプロセス開発オープンラボ棟(仮称)
- 30 次世代半導体・センサ科学研究所
- 31 次世代半導体集積回路技術教育研究共創拠点棟(仮称)
- 32 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- 33 固体機能デバイス研究施設
- 34 環境防災実験棟
- 35 インキュベーション棟
- 36 自然エネルギー実験棟
- 37 教育研究基盤センター
- 38 放射線実験棟
- 39 I-1イノベーション総合研究棟
- 40 I-2イノベーション総合研究棟
- 41 実験実習工場
- 42 事務局
- 43 アウトリーチ活動棟
- 44 附属図書館
- 45 情報メディア基盤センター・IT活用教育センター

- 46 福利施設(食堂・喫茶室・売店)
- 47 課外活動共用施設
- 48 課外活動集会棟
- 49 クラブハウス
- 50 トレーニングジム
- 51 健康支援センター
- 52 体育館
- 53 共用棟
- 54 学生宿舎A棟
- 55 学生宿舎B棟
- 56 学生宿舎C棟
- 57 学生宿舎D棟
- 58 学生宿舎E棟
- 59 学生宿舎F棟
- 60 TUTグローバルハウス(G棟)
- 61 研究者(短期滞在)宿泊施設「ヴィレッジ天伯」
- 62 非常勤講師等宿泊施設「ひばり荘」
- 63 国際交流会館
- 64 守衛所



バス停 駐輪場



45 情報メディア基盤センター
演習やレポート作成に利用できる教育用情報システムのほか、研究用の大規模計算が可能なクラスタシステム、ユーザ認証基盤システムなどの大学情報ネットワークを管理・運営しています。



37 教育研究基盤センター
高度大型分析計測機器類、工作機械類などの共同利用機器を整備・管理・保守しています。



30 次世代半導体・センサ科学研究所
本学の強みである次世代半導体技術、センシング技術分野と、ロボティクス、情報通信、ライフサイエンス、農業工学、環境、防災、モビリティ等の応用分野との融合研究を行う研究所です。



32 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
半導体集積回路(LSI)の設計から製造、評価まで一貫して行える世界トップクラスの研究開発施設です。様々な半導体技術と理工学分野の知見とを組み合わせ、先進的な電子デバイスを生み出しています。

講義室設備一覧

講義室	収容 人数	試験時 収容 人数	付 帯 設 備			ハイフレックス 授業対応	備考
			椅子	マイク	プロジェクタ		
A1-101	192	111	固定	○	○	○	天吊りカメラ
201	152	77	固定	○	○		
301	152	77	固定	○	○		
A2-101	192	108	固定	○	○	○	天吊りカメラ
201	141	79	固定	○	○	○	天吊りカメラ
301	144	81	固定	○	○	○	天吊りカメラ
A-101	329	180	固定	○	○	○	天吊りカメラ
114	146	89	固定	○	○	○	天吊りカメラ
105	132	66	固定	○	○	○	
106	104	52	固定	○	○	○	
108	104	52	固定		○		
109	72	36	固定		○		
110	72	36	固定		○		
111	72	36	固定		○		
201	64	40	移動		○		
202	40	25	移動		○		
203	40	25	移動		○		
205	104	52	固定		○		
207	72	45	移動		○		
208	72	43	移動		○		
209	80	40	固定		○		
301	64	40	移動		○		
302	40	25	移動		○		
303	40	25	移動		○		
306	99	60	移動		○		
308	72	43	移動		○		
309	70	43	移動		○		
311	72	72	移動		○		
312	72	72	移動		○		
B1-201	153	153	移動	○	○		
計	3,158	1,883					

- ・マイク欄に「○」印が無い部屋においても、ポータブル拡声器が使用可(教務課保管))
- ・全講義室においてWi-Fi接続が可能

豊橋技術科学大学教員組織等規則

(平成 16 年 4 月 1 日規則第 7 号)

(目的)

第 1 条 この規則は、豊橋技術科学大学学則（昭和 53 年 4 月 1 日制定。以下「学則」という。）

第 7 条第 2 項の規定に基づき、教員組織等に関し、必要な事項を定める。

(教員組織)

第 2 条 教員組織に、研究上の目的及び教育上の必要性を考慮し、次のとおり系を置く。

- (1) 機械工学系 (第 1 工学系)
- (2) 電気・電子情報工学系 (第 2 工学系)
- (3) 情報・知能工学系 (第 3 工学系)
- (4) 応用化学・生命工学系 (第 4 工学系)
- (5) 建築・都市システム学系 (第 5 学系)

2 前項のほか、研究上の目的及び教養教育上の必要性を考慮し、総合教育院を置く。

3 前 2 項のほか、学則第 5 条の規定により設置する研究所、同第 5 条の 2 により設置するリサーチセンター及び同第 5 条の 3 により設置する共同利用教育研究施設に、教員組織を置くことができる。

4 第 1 項及び第 2 項の教員組織の教育研究分野並びに主に教育を行う工学部の課程及び大学院工学研究科の専攻は、別表のとおりとする。

(教員課程編成会議)

第 2 条の 2 前条第 4 項における教育研究分野並びに主に教育を行う工学部の課程及び大学院工学研究科の専攻に係る重要事項を審議するため、教育課程編成会議を置く。

2 前項に関し必要な事項は別に定める。

(寄附講座又は共同研究講座)

第 3 条 前条第 1 項及び第 2 項の教員組織に、寄附講座又は共同研究講座を設けることができる。

2 前項の寄附講座又は共同研究講座に関し必要な事項は、別に定める。

(系長)

第 4 条 第 2 条第 1 項各号に規定する系に長（以下「系長」という。）を置く。

2 系長は、当該系並びに当該系が主に教育を行う学部の各課程及び工学研究科博士課程の専攻を総括する。ただし、総合教育院の行う教育は除く。

3 系長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(副系長)

第 5 条 第 2 条第 1 項各号に規定する系に副系長を置く。

2 副系長は、系長の職務を助け、系長に事故があるとき、又は系長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 副系長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(総合教育院長)

第 6 条 第 2 条第 2 項に規定する総合教育院に長（以下「総合教育院長」という。）を置く。

2 総合教育院長は、総合教育院並びに学部及び大学院工学研究科博士課程の教養教育を総括する。

3 総合教育院長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(総合教育院副院長)

第 7 条 第 2 条第 2 項に規定する総合教育院に総合教育院副院長を置く。

2 総合教育院副院長は、総合教育院長の職務を助け、総合教育院長に事故があるとき、又は総合教育院長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 総合教育院副院長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(規則の改廃)

第8条 この規則の改廃は、国立大学法人豊橋技術科学大学の規則の種類及び制定等に関する規程（平成16年度規程第1号）の規定により、教授会、教育研究評議会及び経営協議会の議を経て学長が行う。

(その他)

第9条 この規則に定めるもののほか、教員組織等に関し必要な事項は、教授会及び教育研究評議会の議を経て学長が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（令和2（2020）年度規則第5号（令和3（2021）年3月18日））

この規則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則（令和2（2020）年度規則第5号（令和3（2021）年3月18日））

この規則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

別表（第2条関係）

工学部・工学研究科	教員組織	教育研究分野	工学部 工学研究科（博士前期課程）	工学研究科（博士後期課程）
	機械工学系	機械・システムデザイン 材料・生産加工 システム制御・ロボット 環境・エネルギー	機械工学課程 機械工学専攻	機械工学専攻
	電気・電子情報工学系	材料エレクトロニクス 機能電気システム 集積電子システム 情報通信システム	電気・電子情報工学課程 電気・電子情報工学専攻	電気・電子情報工学専攻
	情報・知能工学系	計算機数理科学 データ情報学 ヒューマン・ブレイン情報学 メディア・ロボット情報学	情報・知能工学課程 情報・知能工学専攻	情報・知能工学専攻
	応用化学・生命工学系	分子制御化学 分子機能化学 分子生物化学	応用化学・生命工学課程 応用化学・生命工学専攻	応用化学・生命工学専攻
	建築・都市システム学系	建築・都市デザイン学 都市・地域マネジメント学	建築・都市システム学課程 建築・都市システム学専攻	建築・都市システム学専攻
	総合教育院	人文科学 社会科学 コミュニケーション 自然科学・基礎工学		

豊橋技術科学大学教育課程編成会議規程（案）

（令和 8（2026）年 3 月 ● 日規程第 ● 号）

（趣旨）

第 1 条 この規程は、豊橋技術科学大学教員組織等規程（平成 16 年 4 月 1 日豊橋技術科学大学規程第 7 号）第 2 条の 2 第 2 項の規定に基づき、系・総合教育院における教育課程運営会議に関し、必要な事項を定める。

（組織）

第 2 条 教育課程運営会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- （1）工学部及び大学院工学研究科における教育課程の編成等を主に担当する教員組織の系長又は総合教育院長
- （2）学生所属分野における教育課程の編成等を担当する基幹教員
- （3）その他議長が必要と認めた者

（審議事項）

第 3 条 教育課程運営会議は、次の各号に掲げる事項のうち、議長が必要と認めるものを審議する。

- （1）学生所属分野における教育課程編成等に関する事。
- （2）学生所属分野における入試区分に係る合否判定案作成等に関する事。
- （3）学生所属分野における卒業・修了判定等に関する事。
- （4）その他、議長が必要と認めるコース運営等に関する事。

（招集及び議長）

第 4 条 会議に議長を置き、第 2 条第 1 号の者をもって充てる。

- 2 議長に事故あるとき、又は議長が欠けたときは、あらかじめ議長の指名した者がその職務を代行する。

（議事）

第 5 条 教育課程運営会議は、構成員の 3 分の 2 以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

- 2 教育課程運営会議の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事要旨）

第 6 条 教育課程運営会議は、開催の都度審議内容について議事要旨を作成するものとする。

- 2 学長は必要に応じ、議事要旨の提出を議長に求めることができるものとする。

（規程の改廃）

第 7 条 この規程の改廃は、国立大学法人豊橋技術科学大学の規程の種類及び制定等に関する規程（平成 16 年度規程第 1 号）の規定により、教授会の議を経て学長が行う。

（その他）

第 8 条 この規程に定めるもののほか、議事の手続きその他教育課程運営会議の運営に関し必要な事項は、教育課程運営会議が別に定める。

附 則

この規程は、令和 8（2026）年 4 月 1 日から施行する。